

# 公立豊岡病院紀要

第32号 2020



BULLETIN OF TOYOOKA HOSPITAL

No.32

令和 3 年 3 月 25 日

公立豊岡病院

豊病紀要

BULL.TOYOOKA HOSP.

## 巻 頭 言

公立豊岡病院病院長

三 輪 聡 一



2020 年は新型コロナウイルス感染症で明け暮れた 1 年間であったと言っても過言ではありません。職員の皆様には、新型コロナウイルス感染症患者への対応で多大なご協力およびご支援を頂きまして大変有り難うございました。想定を超えた事態であり、精神的・肉体的ストレスはこれまでに経験したことがないほど大変なものであったと想像しております。本当にご苦勞様でした。

2019 年 12 月、中華人民共和国の武漢市で原因不明の肺炎のクラスターが発生したことに始まり、2020 年 2 月 5 日には、集団感染を起こしたクルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス号」の隔離措置が横浜港で開始されました。豊岡病院では、2020 年 2 月 6 日から、行政指導によりいわゆる「帰国者・接触者外来」を開設しました。4 月 8 日に「新型コロナウイルス感染症対応災害対策本部」を立ち上げ、4 月 21 日には「発熱外来」を開設しました。第一波は 5 月初旬で収束し、但馬地域での患者発生はありませんでした。7 月になると第二波が発生し、8 月 1 日に初めての入院患者を受け入れました。入院患者が短期間で増加したため（最大 5 名）、一つの病棟 45 床をコロナ専用病棟に切り替えましたが、それ以上の感染者は発生しませんでした。11 月になると第三波が発生し、日本全国の新規感染者数が急速に増加し、但馬地方でも新規感染者が 11 月 17 日に発生しました。但馬地方での新規発生に加え、兵庫県南部の病院に収容しきれない患者の受け入れもあり、12 月中旬頃には入院患者が 13 人前後になりました。第三波は現在のところ収束する兆しが見えていませんが、国民一人一人が様々な面で注意を払うことにより、また、ワクチン接種の拡大や新薬の投入により、いずれ感染は下火になるものと思われます。

当院は、地域医療を支える拠点病院で、悪性腫瘍・外傷・心血管系疾患や神経系疾患などに対する高度専門医療の提供が本来の業務であり、それらの業務に医師や看護師などの限られた人的資源で対応しています。冬場になると、新型コロナウイルス感染症に加えてインフルエンザ感染症の患者が急増する可能性があります。一昨年～昨年の冬場にかけては、インフルエンザの検査および治療は、診療所の先生方に担当して貰っていましたが、今冬は、新型コロナウイルス検査を実施される診療所（豊岡市医師会では 20 か所余りと聞いています）のかかりつけ患者以外の発熱患者に関しては、保健所または診療所などからの紹介があった場合に限り、豊岡病院で新型コロナウイルスとインフルエンザウイルス感染症の検査を実施することとしました。豊岡病院発熱外来では検査のみを実施することとし、検査が陰性の場合にはかかりつけ医または近医で更なる検査や治療をお願いし、新型コロナウイルス検査が陽性の場合には、豊岡病院に入院することになります。以上のような状況で、今冬は病院機能が麻痺するくらい忙しくなるような場合には、病院職員一同が協力してこの状況を乗り切りたいと思いますので、皆様のご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

一方で、今後の課題として、感染症流行時に、但馬地域の基幹病院である豊岡病院が通常疾患に対する急性期高度医療に加えて、感染症に関する検査・診断から入院治療全般に至るまでのすべての医療を行わなくても良いような仕組みを構築していくことが重要であると強く感じました。さもないと、豊岡病院の医療従事者に感染クラスターが発生して病院機能停止に追い込まれた場合、都会と違い但馬地域では豊岡病院の機能を代替できる病院が存在しないので、通常疾患の診療が停止し大変な事態になると考えられます。このような問題に対して、地域の医療関係者、地方自治体、保健所、県などが真剣に議論して、体制づくりを行っていく必要があると思います。

# 目 次

## 巻頭言

病院長 三 輪 聡 一

## 研究論文

|                                                          |                   |    |
|----------------------------------------------------------|-------------------|----|
| Bevacizumab + Paclitaxel 療法により局所コントロールが可能となった局所進行乳癌の 1 例 | 乳腺外科 福井由紀子 他 ……   | 1  |
| 公立豊岡病院における ESBL 産生大腸菌検出症例の臨床的特徴に関する調査                    | 薬剤部 今井 清隆 他 ……    | 6  |
| 診断参考レベルに基づく頭部 CT 撮像条件の検討                                 | 放射線技術科 林 直樹 他 ……  | 10 |
| CT 室内における撮影補助者の被ばく低減の可能性                                 | 放射線技術科 橋本 大将 他 …… | 16 |

## 研究業績

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 原著論文 ……                      | 20 |
| 学会他発表 ……                     | 23 |
| 救急集中治療科業績 ……                 | 36 |
| 院内研究会 ……                     | 41 |
| 招待講演会 ……                     | 42 |
| 講 演 ……                       | 43 |
| 第 23 回 公立豊岡病院組合立病院 合同学会開催 …… | 48 |

## 研修報告

|                           |                  |    |
|---------------------------|------------------|----|
| 2019 年度 認定看護管理者教育課程 ..... | 看護師長 濱 武 .....   | 49 |
| 「ファーストレベルⅣ期」研修報告          |                  |    |
| 2019 年度 認定看護管理者教育課程 ..... | 看護師長 東森 優子 ..... | 51 |
| 「ファーストレベルⅠ期」研修報告          |                  |    |

## 資料

|                      |    |
|----------------------|----|
| 公立豊岡病院紀要投稿規定 .....   | 53 |
| 公立豊岡病院紀要論文執筆要領 ..... | 54 |
| 編集後記 .....           | 55 |



## 私たちの基本理念

公立豊岡病院は但馬地域の基幹病院として、  
高度かつ最適な医療を安定的に提供し、  
地域住民の健康と生命を守り続けます。

## 基本方針

1. 生命の尊厳と人権を尊重し、  
患者に寄り添う医療を提供します。
2. 診療科や職種の枠を超えた  
連携によるチーム医療を推進します。
3. 24時間体制で最適な医療を提供します。
4. 医療安全を重視する組織文化を定着させ、  
安全・安心な医療を提供します。
5. 地域の医療・保健・福祉機関との  
相互連携を推進します。
6. 職員一人ひとりが、自覚をもって  
経営の健全化に努めます。
7. 医療水準向上を目的に、職員の  
研修・教育の充実を図ります。

# 研 究 論 文

# Bevacizumab + Paclitaxel 療法により 局所コントロールが可能となった局所進行乳癌の 1 例

公立豊岡病院 乳腺外科<sup>1)</sup>

公立豊岡病院 看護部<sup>2)</sup>

公立豊岡病院 外科<sup>3)</sup>

公立豊岡病院 病理診断科<sup>4)</sup>

福井由紀子<sup>1)</sup>、坪野ますみ<sup>2)</sup>、牧野健太<sup>3)</sup>、木下裕光<sup>3)</sup>、  
杉山朋大<sup>3)</sup>、三木 明<sup>3)</sup>、遠藤真一郎<sup>1)</sup>、内田茂樹<sup>3)</sup>、  
坪野充彦<sup>3)</sup>、足立 靖<sup>4)</sup>、水田 誠<sup>1)</sup>

## 和文抄録

症例は 46 歳女性。左乳房に発生した自壊し悪臭を伴う 10cm 大の腫瘤を主訴に受診した。精査の結果、局所進行乳癌、ER (30%)、PgR (0%)、HER2 (score0)、cT4N2M0 cStage III B と診断された。術前化学療法として Bevacizumab (10 mg/kg day 1, 15 投与) + Paclitaxel (80 mg/m<sup>2</sup> 3 投 1 休) 療法施行したところ、1 コース目が終了した時点で腫瘍の大部分が脱落した。合計 12 コース行い、腫瘍、腋窩リンパ節はともに著明に縮小し、皮膚欠損部の潰瘍が残存するのみとなった。治癒切除可能と判断し、左乳房切除術 + 腋窩リンパ節郭清 (level III) + 植皮術を施行した。切除標本内には腫瘍が壊死したと考えられる線維構造やマクロファージの集簇を認めた。残存腫瘍は ER (0%)、PgR (0%)、HER2 (score0) と内分泌感受性が変化しており、エストロゲン受容体陽性の癌細胞が死滅し悪性度の高い triple negative type の癌細胞が残存したものと考えられた。術後補助療法として AC 療法 (Adriamycin 60mg/m<sup>2</sup> + Cyclophosphamide 600mg/m<sup>2</sup> 1 投 2 休) 4 コース施行した後、Capecitabine (1800mg/day 2 投 1 休) を投与していたが、投与中に遠隔転移を認めた。その後 Eribulin (1.4mg/m<sup>2</sup> 2 投 1 休)、Bevacizumab + Paclitaxel 療法、Vinorelbine (25mg/m<sup>2</sup> 2 投 1 休) を順次投与したが著効せず術後 2 年で死亡した。Bevacizumab は response rate (RR) や progression free survival (PFS) を改善するものの overall survival (OS) を改善しないため、欧米では適応外とされている。しかし本症例のように局所制御を行うことで quality of life (QOL) 向上を得られるような症例では有効な治療と考えられた。

Key words : 局所進行乳癌、Bevacizumab + Paclitaxel、局所コントロール

公立豊岡病院における ESBL 産生大腸菌  
検出症例の臨床的特徴に関する調査  
Clinical characteristics of extended-spectrum  $\beta$  -lactamase-  
producing *Escherichia coli* in Toyooka Public Hospital

公立豊岡病院組合立 豊岡病院 薬剤部  
Department of Pharmacy, Toyooka Public Hospital

今井 清隆、一幡 結、岩崎 重幸  
Kiyotaka Imai, Yui Ichiman, Shigeyuki Iwasaki

基質特異性拡張型  $\beta$  ラクタマーゼ (extended-spectrum  $\beta$  -lactamase : ESBL) 産生大腸菌の検出数は、近年本邦においても極めて増加傾向にあり、多くの抗菌薬に耐性を有していることが知られている。そのため、大腸菌による尿路感染症においては、抗菌薬選択の際には ESBL 産生であるかどうかを考慮する必要性が高まっている。本研究は、公立豊岡病院（以下、当院）に入院した患者の中で、尿検体から大腸菌が検出された患者 195 例について、ESBL 産生大腸菌 23 例と非 ESBL 産生大腸菌 172 例に分け、ESBL 産生大腸菌検出のリスク因子について後方視的に調査した。その結果、糖尿病既往の有無 ( $p=0.04$ )、過去 3 ヶ月間の抗菌薬使用歴 ( $p < 0.001$ )、および介護施設入所中の患者 ( $p=0.02$ ) が ESBL 産生大腸菌検出の有意なリスク因子であった。本結果から、これらのリスク因子を有する患者における大腸菌による尿路感染症では、ESBL 産生大腸菌が原因菌である可能性を念頭に置き、抗菌薬を選択する必要があると考えられた。

# 診断参考レベルに基づく頭部 CT 撮像条件の検討

公立豊岡病院組合立豊岡病院 放射線技術科

林 直樹、米分直樹

## 要 旨

近年、放射線検査における診断参考レベルが発表された。そこで、本研究では頭部 CT 撮像条件を診断参考レベルと比較、検討した。はじめに、64 列 CT で撮像した際の CTDIvol を測定した。また、撮像条件を変え、MTF、NPS 及び CNR をそれぞれ測定し、画質評価を行った。その結果、従来の頭部 CT 撮像条件では CTDIvol が約 94.3 mGy であり、診断参考レベルを下回るのは 225 mAs であった。MTF は小焦点では変化がなかったが、大焦点では低下した。NPS 及び CNR は撮像条件を上げるに従って、それぞれ低下及び増加した。また、225 mAs では管球回転速度が 1.5 s であることから、NPS は 250 mAs と同等の値を示し、CNR は従来と同等の値を示した。以上のことから、頭部 CT 撮像条件として 150 mA × 1.5 s/rot が診断参考レベルの範囲内の線量、かつ従来の条件とほぼ同等の画質であることが確認できた。

Key words : CT, DRLs, CTDIvol, Head

# CT 室内における撮影補助者の被ばく低減の可能性

公立豊岡病院組合立 豊岡病院出石医療センター 放射線技術科<sup>1)</sup>  
公立豊岡病院組合立 豊岡病院 放射線技術科<sup>2)</sup>

橋本 大将<sup>1)</sup> 林 直樹<sup>2)</sup>

## 要 旨

放射線業務において被ばくを低減させることはとても重要である。本研究では CT 検査時の撮影室内において撮影補助者の被ばくを低減できる可能性について検討した。CT 室において、高さ 100 cm 及び 150 cm に対して壁際の空間線量及び等線量曲線を測定、検討した。その結果、ガントリや胸腹部用水ファントムの影響により空間線量が減少し、ガントリ中心から測定点までの距離が離れると空間線量が減少した。また高さ 100 cm と比較して高さ 150 cm の空間線量は多くなった。このことにより CT 検査において撮影補助者の被ばく線量を少なくするには、ガントリ中心からできるだけ距離をとる、もしくはガントリの後方やかげにいくことが有効である可能性が考えられる。

Key words : Computed Tomography, Exposure dose, Distance, Shield

# 研究業績

# 原 著 論 文

高齢化地域において心房細動を有する脳梗塞を減少させる取り組み

公立豊岡病院 脳神経内科<sup>1)</sup>  
脳神経外科<sup>2)</sup>  
循環器内科<sup>3)</sup>  
救急集中治療科<sup>4)</sup>

横手明義<sup>1)</sup>

芦崎太一郎<sup>1)</sup>、斧淵夏那<sup>2)</sup>、石田明彦<sup>3)</sup>、  
岡村有祐<sup>2)</sup>、小林誠人<sup>4)</sup>

日本医師会雑誌 (0021-4493) 148 巻 10 号

Page2006-2011(2020.01)

S状結腸原発 Micropapillary Carcinoma の1例

公立豊岡病院 消化器科<sup>1)</sup>  
関西医科大学枚方病院 病理診断科<sup>2)</sup>  
公立豊岡病院 病理診断科<sup>3)</sup>  
関西医科大学 共同研究講座・幹細胞異常症学<sup>4)</sup>  
小中義貞<sup>1)</sup>、上田通雅<sup>1)</sup>、竹中淳雄<sup>1)</sup>、  
山田貴裕<sup>1)</sup>、中野麗香<sup>2)</sup>、足立 靖<sup>3,4)</sup>  
癌と化学療法 . 11 ; 1787-1790, 2019

豊岡市国民健康保険特定健診データを用いた糖尿病性腎臓病重症化関連因子の解析

公立豊岡病院 内分泌・糖尿病内科

岸本 一郎

糖尿病 (0021-437X) 62 巻 6 号 Page347-354

Moyamoya Disease in Pregnancy: A 20-Year Single-Center Experience and Literature Review

公立豊岡病院 産婦人科  
Yoshihide Inayama, Kondoh E,  
Chigusa Y, Ito S, Funaki T,  
Matsumura N, Miyamoto S,  
Mandai M

World Neurosurg. 2019 Feb;122:684-691.

子宮内膜肥厚を伴う卵巣腫瘍に対し腹腔鏡手術を施行し、成熟嚢胞性奇形腫の一部に成人型顆粒膜細胞腫の合併を認めた一例

公立豊岡病院 産婦人科

酒井美恵、山ノ井康二、小原 勉、  
鈴木 悠、稲山嘉英、下仲 慎平、  
杉並 興

日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 (1884-9938)35 巻 2 号

Page311-317(2019.12)

A case of synchronous primary corpus and ovarian cancer with pseudo-Meigs syndrome: Utilization of a diagnostic Laparoscopy for the accurate diagnosis

公立豊岡病院 産婦人科

Shimpei Hatanaka, Koji Yamanoi,  
Jumpei Ogura, Tsutomu Ohara,  
Yoshihide Inayama, Takahiro  
Hirayama, Mie Sakai, Haruka  
Suzuki, Koji Yasumoto, Koh  
Suginami

Gynecologic Minimum Invasive Therapy. 2019 Oct

24;8(4):188-191

A case of pregnancy complicated with Evans syndrome with sequential development of autoimmune warm antibody hemolytic anemia and idiopathic thrombocytopenic purpura

公立豊岡病院 産婦人科

Haruka Suzuki , Koji Yamanoi,  
Jumpei Ogura, Takahiro  
Hirayama, Koji Yasumoto,  
Shimpei Shitanaka, Yoshihide  
Inayama , Mie Sakai, Tsutomu  
Ohara, and Koh Suginami

Case Reports in Obstetrics and Gynecology.

Volume 2019, Article ID 2093612, 5 pages

## Malignant rhabdoid tumour in an adult kidney : A case report

Departments of Urology, Toyooka Hospital <sup>1)</sup>

Department of Diagnostic Pathology, Toyooka Hospital <sup>2)</sup>

Department of Surgical Pathology <sup>3)</sup>

Okumura Y <sup>1)</sup>, Adachi Y <sup>2)</sup>,  
Shirahase T <sup>1)</sup>, Nagashima Y <sup>3)</sup>,  
Tanaka Y <sup>4)</sup>, Taki Y <sup>1)</sup>, Watanabe J <sup>1)</sup>,  
Uegaki M <sup>1)</sup>, Sakatani T <sup>1)</sup>,  
Ikehara S <sup>5)</sup>.

Mol Clin Oncol. 11: 55-58, 2019.

## An autopsy case of rupture of infectious thoracic aortitis induced by methicillin-resistant staphylococcus aureus

Department of Laboratory, Toyooka Hospital <sup>1)</sup>

Department of Diagnostic Pathology, Toyooka Hospital <sup>2)</sup>

Department of Orthopedics, Asago-Medical Center <sup>3)</sup>

Department of General Medicine, Asago-Medical Center <sup>4)</sup>

Division of Public Health, Center for Community Medicine, Jichi <sup>5)</sup>

Goto T <sup>1)</sup>, Adachi Y <sup>2)</sup>, Doi Y <sup>3)</sup>,  
Kosami K <sup>4,5)</sup>, Nakano Y <sup>6)</sup>,  
Hasegawa Y <sup>1)</sup>, Wada M <sup>1)</sup>,  
Kobayashi E <sup>1)</sup>, Hirate K <sup>1)</sup>,  
Shimizu S <sup>7)</sup>, Ikehara S <sup>8)</sup>

Am J Case Rep. Nov 3; 20 : 1612-1618, 2019

## A case of high-grade mucinous tubular and spindle cell carcinoma.

Resident, Toyooka Hospital <sup>1)</sup>

Department of Diagnostic Pathology, Toyooka Hospital <sup>2)</sup>

Department of Urology, Toyooka Hospital, Toyooka <sup>3)</sup>

Miura K <sup>1)</sup>, Adachi Y <sup>2)</sup>, Shirahase T <sup>3)</sup>, Nagashima Y <sup>4)</sup>, Suemune K <sup>5)</sup>,  
Sakaida N <sup>6)</sup>, Nakano Y <sup>7)</sup>, Sakai Y <sup>8)</sup>, Shimizu S <sup>9)</sup>, Ikehara S <sup>10)</sup>

J Surg Case Rep. Feb 21;2020(2), rjaa014, 2020.

## An Autopsy Case of Rupture of Infectious Thoracic Aortitis Induced by Methicillin-Resistant Staphylococcus Aureus

Department of Laboratory, Toyooka Hospital, Toyooka, Hyogo, Japan

Takafumi Goto, Yasushi Adachi,  
Ryoichi Doi, Koki Kosami, Yorika Nakano, Kaori Hasegawa, Mika Wada, Eri Kobayashi, Kazuhiro Hirate, Sigeki Shimizu, Susumu Ikehara

Am J Case Rep 2019; 20:1612-1618

DOI : 10.12659/AJCR.918892

Available online :

Published : 2019-11-03

**BACKGROUND** : Infectious aortitis has a poor prognosis and high mortality rate if untreated. Here, we report a case of rupture of infectious aortitis induced by methicillin-resistant staphylococcus aureus (MRSA).

**CASE REPORT** : An 83-year-old female patient was hospitalized due to continuous fever and diarrhea, which was diagnosed as colitis. The colitis was determined to have been induced by small vessel vasculitis upon histological examination. Fasting and central venous hyperalimentation using a peripherally inserted central catheter (PICC) were carried out for rest of the intestine. Swelling and pus were observed at the insertion site of the PICC.

Since methicillin resistant staphylococcus aureus (MRSA) was detected in the culture of the pus and the blood, the patient was treated with vancomycin. After confirming that the blood culture became negative, prednisolone (PDL) was started as therapy for the colitis. Her diarrhea and fever improved. After vancomycin was stopped, MRSA-arthritis appeared. She suddenly died due to acute massive hemorrhage into the mediastinum and left thoracic cavity from the atherosclerotic ulcer of the thoracic aorta. It took 98 days from the first detection of MRSA in her blood to her death. We found gram-positive coccus in the ruptured aortic ulcer and we also detected MRSA gene by polymerase chain reaction in the ulcer. These results suggest that MRSA could colonize in the aortic ulcer during the MRSA-bacteremia and the MRSA could contribute to the vulnerability of the aortic wall.

**CONCLUSIONS** : After septicemia occurs in an elderly person, the patient should be followed up by considering infectious aortitis, especially when the patient has several risk factors.

**Keywords** : Aorta, Thoracic, aortic rupture, Aortitis, Autopsy, Bacterial Infections, Methicillin-resistant Staphylococcus aureus

## 学 会 他 発 表

ニューキノロン系抗菌薬による抗菌薬関連脳症をきたした1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学研究科地域医療  
支援学部門<sup>2)</sup>

隈部綾子<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第93回日本感染症学会総会・学術講演会

2019年4月4～6日 於：名古屋市

頸髄損傷後に中枢性塩類喪失症候群（CSWS）をきたした1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学研究科地域医療  
支援学部門<sup>2)</sup>

隈部綾子<sup>1)</sup>、長谷川貴也<sup>1)</sup>、清水健史<sup>1)</sup>、

杉山陽介<sup>1)</sup>、恒成 徹<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2019年5月17～19日 於：京都市

兵庫県丹波市で野生シカの生肉摂取後にE型肝炎を発症した1例と兵庫県内のE型肝炎届出についての検討

兵庫県立柏原病院 内科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学研究科地域医療支援  
学部門<sup>2)</sup>

藤川萌恵美<sup>1)</sup>、藤井康和<sup>1)</sup>、河崎 悟<sup>1)</sup>、

西崎 朗<sup>1)</sup>、秋田穂束<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第116回日本内科学会総会・講演会

2019年4月26～28日 於：名古屋市

原発巣の診断に難渋した肺癌の転移性骨軟部腫瘍の1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学研究科地域医療支援  
学部門<sup>2)</sup>

松崎三徳<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>1)</sup>、隈部綾子<sup>1)</sup>、

中治仁志<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第225回日本内科学会近畿地方会

2019年9月21日 於：大阪市

Providing public healthcare lectures influences junior residents' perceptions of community medicine.

Moemi Fujikawa, Tsuneaki  
Kenzaka, Ken Goda, Hozuka  
Akita.

World Organization of Family Doctors (WONCA)  
Asia Pacific Regional Conference 2019, Kyoto, Japan,  
May 15-18, 2019.

*Fusobacterium nucleatum* による横隔膜周囲多発膿瘍をきたした1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学研究科地域医療  
支援学部門<sup>2)</sup>

隈部綾子<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第89回日本感染症学会西日本地方会学術集会

第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会

第67回日本化学療法学会西日本支部総会三学会合同

2019年11月7～9日 於：浜松市

*Helicobacter pylori* 感染の関与が示唆された鉄欠乏性貧血の1例

公立豊岡病院 総合診療科

松崎三徳、見坂恒明、上田康雅、

鎌田百香、合田 建、秋田穂束

第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2019年5月17～19日 於：京都市

## 皮疹の痂皮化後に遅発性に髄膜炎を来した帯状疱疹の1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学系研究科地域医療支援学部門<sup>2)</sup>

藤原 稜<sup>1)</sup>、隈部綾子<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>1)</sup>、  
中治仁志<sup>1)</sup>、岸本一郎<sup>1)</sup>、恒成 徹<sup>1)</sup>、  
見坂恒明<sup>2)</sup>

第33回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会  
2019年12月1日 於：姫路市

## APTT 単独延長が診断契機となった第XII凝固因子欠乏症の1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学系研究科地域医療支援学部門<sup>2)</sup>

藤川萌恵美<sup>1)</sup>、隈部綾子<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>1)</sup>、  
中治仁志<sup>1)</sup>、岸本一郎<sup>1)</sup>、恒成 徹<sup>1)</sup>、  
見坂恒明<sup>2)</sup>

第33回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会  
2019年12月1日 於：姫路市

## 高齢者に発症したアシクロビル脳症の1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学系研究科地域医療支援学部門<sup>2)</sup>

清水健史<sup>1)</sup>、隈部綾子<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>1)</sup>、  
中治仁志<sup>1)</sup>、岸本一郎<sup>1)</sup>、恒成 徹<sup>1)</sup>、  
見坂恒明<sup>2)</sup>

第33回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会  
2019年12月1日 於：姫路市

## 筋症状を契機に発見された皮膚症状のない皮膚筋炎の1例

公立豊岡病院 総合診療科

片山篤志、杉山陽介、隈部綾子、  
村上孝作、見坂恒明

第226回日本内科学会近畿地方会  
2019年12月21日 於：大阪市

## ヒトパレコウイルス3型による流行性筋痛症の2例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学系研究科地域医療支援学部門<sup>2)</sup>

藤原 稜<sup>1)</sup>、隈部綾子<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>1)</sup>、  
恒成 徹<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第227回日本内科学会近畿地方会  
2020年3月7日 於：京都市

## 高齢化が進む北近畿地方において、心房細動の発見と適切な抗凝固療法の必要性について

公立豊岡病院 脳神経内科

横手明義

第72回兵庫県医師会医学会

2019年10月20日 於：神戸市

## 兵庫県但馬地方の基幹病院における結核症例の検討

公立豊岡病院 呼吸器内科<sup>1)</sup>

総合診療科<sup>2)</sup>

京都大学 呼吸器内科<sup>3)</sup>

中治仁志<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>2)</sup>、島 寛<sup>3)</sup>、  
池尾 聡<sup>3)</sup>、阪森優一<sup>3)</sup>

第59回日本呼吸器学会学術講演会

2019年4月12日～14日 於：東京都

## 3週間に及ぶ間欠熱が持続したネコひっかき病の1例

公立豊岡病院 小児科

南部 静紀、井上 葵子、藤崎 拓也、  
上田 拓耶、藤林 洋美、上田 雅章、  
許 永龍、港 敏則

第277回日本小児科学会兵庫県地方会

2019年5月11日 於：神戸市

こども家庭センターへの通告に時間を要した乳児  
急性硬膜下血腫の一例

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>

救急集中治療科<sup>2)</sup>

医療社会事業士<sup>3)</sup>

港 敏則<sup>1)</sup>、藤林洋美<sup>1)</sup>、上田雅章<sup>1)</sup>、  
後藤 保<sup>2)</sup>、原光千衣<sup>3)</sup>

第 11 回日本子ども虐待医学会学術集会

2019 年 7 月 27・28 日 於：函館市

教育シンポジウム2 ここでは聞けない！解剖  
から臨床までの呼吸器学 気管支喘息児の呼吸ア  
セスメントと急性増悪時のケア

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>

リハビリテーション技術科<sup>2)</sup>

港 敏則<sup>1)</sup>、小谷栄恵<sup>2)</sup>

第 36 回日本小児臨床アレルギー学会

2019 年 7 月 27・28 日 於：和歌山市

「支持的」対応を粘り強く行うことで寛解を得た  
解離性障害の女児例

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>

心理師<sup>2)</sup>

港 敏則<sup>1)</sup>、藤林洋美<sup>1)</sup>、南部静紀<sup>1)</sup>、  
高橋みどり<sup>2)</sup>

第 37 回日本小児心身医学会学術集会

2019 年 9 月 13～15 日 於：広島市

新生児早期に診断がついたヌーナン症候群

公立豊岡病院 小児科

井上葵子、市川裕太、李 崇至、  
南部静紀、藤林洋美、上田雅章、  
許 永龍、港 敏則

第 278 回日本小児科学会兵庫県地方会

2019 年 9 月 28 日 於：姫路市

気管カニューレを有する児の在宅医療の現状と課  
題

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>

リハビリテーション技術科<sup>2)</sup>

港 敏則<sup>1)</sup>、井上葵子<sup>1)</sup>、市川裕太<sup>1)</sup>、  
李 崇至<sup>1)</sup>、南部静紀<sup>1)</sup>、藤林洋美<sup>1)</sup>、  
上田雅章<sup>1)</sup>、許 永龍<sup>1)</sup>、小谷栄恵<sup>2)</sup>

第 52 回日本小児呼吸器学会学術大会

2019 年 11 月 15・16 日 於：鹿児島市

解離性障害児の描画の意義について

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>

心理師<sup>2)</sup>

港 敏則<sup>1)</sup>、藤林洋美<sup>1)</sup>、南部静紀<sup>1)</sup>、  
高橋みどり<sup>2)</sup>

第 17 回日本小児心身医学会関西地方会

2020 年 1 月 26 日 於：大津市

Primary results of multicenter phase II study  
of neoadjuvant chemotherapy with S-1 and  
oxaliplatin for locally advanced gastric cancer  
(Neo G-SOX P II)

公立豊岡病院 外科

三木 明

ESMO 2019 Congress

2019 年 9 月 25 日～10 月 3 日 於：バルセロナ

メシル酸イマチニブによる術前化学療法にて肛門  
温存が可能であった直腸 GIST の一例

公立豊岡病院 外科

三木 明

第 81 回日本臨床外科学会総会

2019 年 11 月 14～16 日 於：高知市

当院における他科医師との合同手術の現状

公立豊岡病院 外科

中村大地

第 81 回日本臨床外科学会総会

2019 年 11 月 14～16 日 於：高知市

保存加療後、腹腔鏡下に切除し得た Meckel 憩室穿孔の一例

公立豊岡病院 外科

牧野健太

第 32 回日本内視鏡外科学会総会

2019 年 12 月 4～7 日 於：横浜市

シャント血管から皮下小静脈への逆流により出血を繰り返した難治性皮膚潰瘍の 1 例

公立豊岡病院 形成外科<sup>1)</sup>

呼吸器・心臓血管外科<sup>2)</sup>

徳力俊治<sup>1)</sup>、田中啓貴<sup>1)</sup>、清水健司<sup>1)</sup>、

井内幹人<sup>2)</sup>、田中 仁<sup>2)</sup>、那須通寛<sup>2)</sup>

第 46 回兵庫県形成外科医会研究会

2019 年 4 月 13 日 於：神戸市

気道管理にオトガイ下引き抜き法を用いた顔面骨折手術の経験

公立豊岡病院 形成外科<sup>1)</sup>

京都大学医学部附属病院 形成外科<sup>2)</sup>

清水健司<sup>1)</sup>、田中啓貴<sup>1)</sup>、勝部元紀<sup>2)</sup>、

徳力俊治<sup>1)</sup>

第 122 回関西形成外科学会学術集会

2019 年 7 月 14 日 於：大阪市

尿管管遺残膿瘍切除後に生じた腹直筋前鞘欠損に対し、components separation 法（CS 法）を用いて腹壁再建を行った 1 例

公立豊岡病院 形成外科<sup>1)</sup>

兵庫県立尼崎総合医療センター 形成外科<sup>2)</sup>

徳力俊治<sup>1)</sup>、田中啓貴<sup>1)</sup>、清水健司<sup>1)</sup>、

野村健志<sup>2)</sup>

第 47 回形成外科臨床会

2019 年 8 月 23 日 於：大阪市

出血を繰り返し、手術治療を要した橈骨動脈仮性動脈瘤の 2 症例

公立豊岡病院 形成外科<sup>1)</sup>

和泉市立総合医療センター 形成外科<sup>2)</sup>

徳力俊治<sup>1)</sup>、田中啓貴<sup>1)</sup>、清水健司<sup>1)</sup>、

井内友美<sup>2)</sup>

第 123 回関西形成外科学術集会

2019 年 12 月 8 日 於：京都市

高温高圧洗浄機による皿度熱傷の 1 例

公立豊岡病院 形成外科<sup>1)</sup>

兵庫県立尼崎総合医療センター 形成外科<sup>2)</sup>

徳力俊治<sup>1)</sup>、田中啓貴<sup>1)</sup>、清水健司<sup>1)</sup>、

松田翔太<sup>2)</sup>

第 28 回日本熱傷学会近畿地方会

2020 年 1 月 18 日 於：大阪市

高齢者の急性期脳梗塞に対する血栓回収療法における予後因子の検討

公立豊岡病院 脳神経外科

石井大嗣、坂田純一、斧淵夏那、

井村 隼、岡村有佑、甲村英二

一般社団法人日本脳神経外科学会 第 78 回学術総会

2019 年 10 月 9～12 日 於：大阪市

兵庫県北部の急性期脳卒中治療におけるヘリ搬送の有用性

公立豊岡病院 脳神経外科

石井大嗣、斧淵夏那、井村 隼、

山本祐輔、岡村有佑、甲村英二

第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会

2019 年 11 月 21～23 日 於：福岡市

遺残坐骨動脈瘤に対して血管内治療を行った 1 例

公立豊岡病院 呼吸器・心臓血管外科

井内幹人、他

第 47 回日本血管外科学会学術総会

2019 年 5 月 22～24 日 於：名古屋市

腕頭動脈血栓により右上肢の虚血を生じた1例

公立豊岡病院 呼吸器・心臓血管外科

井内幹人、他

第60回日本脈管学会総会

2019年10月10～12日 於：東京都

当院における転移性腎癌に対する分子標的療法の  
治療成績

公立豊岡病院 泌尿器科

小寺澤成紀

第107回日本泌尿器科学会総会

2019年4月18～21日 於：名古屋市

兵庫県北部(但馬)地区における腎尿管結石の頻度

公立豊岡病院 泌尿器科

小寺澤成紀

第84回日本泌尿器科学会東部総会

2019年10月3～6日 於：東京都

塩酸リトドリンの経口投与についての後方視的検  
討

公立豊岡病院 産婦人科

小原 勉、山ノ井康二、下仲 慎平、

稲山 嘉英、酒井美恵、鈴木 悠、

杉並 興

第55回日本周産期・新生児医学会学術集会

2019年7月13～15日 於：松本市

悪性腫瘍との鑑別が困難であったIUD長期留置  
後の骨盤内腫瘍に対し、放線菌症を疑い保存的加  
療にて治癒した一例

公立豊岡病院 産婦人科

酒井美恵、小原 勉、鈴木 悠、

門元辰樹、下仲 慎平、住友理浩

Japan Society for Advancement of Women's Imaging

2019年9月6～7日 於：淡路市

巨大卵巣腫瘍に対して、慎重な管理のもとで腹腔  
鏡下卵巣腫瘍摘出術を施行した一例

公立豊岡病院 産婦人科

酒井美恵、小原 勉、鈴木 悠、

門元辰樹、下仲 慎平、住友理浩

第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

2019年9月12～14日 於：京都市

当院における全腹腔鏡下子宮全摘術に対する適応  
拡大のための取り組み

公立豊岡病院 産婦人科

小原 勉、住友理浩、下仲 慎平、

門元辰樹、酒井美恵、鈴木 悠、

杉並 興

第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

2019年9月12～14日 於：京都市

卵巣癌に対する腹腔内化学療法の後方視的検討

公立豊岡病院 産婦人科

下仲 慎平、山ノ井康二、松村謙臣、

小原 勉、鈴木 悠、酒井美恵、

門元辰樹、住友理浩

第57回日本癌治療学会学術集会

2019年10月24～26日 於：福岡市

Clinical significance of HPV test for  
cervical cytological abnormalities

公立豊岡病院 産婦人科

Mie Sakai, Koji Yamanoi,

Noriomi Matsumura, Tsutomu

Ohara, Haruka Suzuki, Tatuki

Kadomoto, Shimpei Shitanaka,

Masahiro Sumitomo

第57回日本癌治療学会学術集会

2019年10月24～26日 於：福岡市

従圧式換気を使用したマスク換気の最適な設定圧は 10cmH<sub>2</sub>O である

公立豊岡病院 麻酔科

田井綾乃、前川信博、藤田 碧、  
蔭山 成、高野貴司、正田丈裕

日本麻酔科学会第 66 回学術集会

2019 年 5 月 30 日～6 月 1 日 於：神戸市

麻酔導入時の突然の開口障害によって咀嚼筋腱・  
腱膜過形成症が発覚した患者に再度全身麻酔を  
行った症例

公立豊岡病院 麻酔科<sup>1)</sup>

西脇市立西脇病院 麻酔科<sup>2)</sup>

清水大介<sup>1)</sup>、植木正明<sup>2)</sup>、豊永達宣<sup>1)</sup>、  
高野貴司<sup>1)</sup>、前川信博<sup>1)</sup>、正田丈裕<sup>1)</sup>

日本臨床麻酔学会第 39 回大会

2019 年 11 月 7～9 日 於：軽井沢町

ペースメーカー（PM）装着患者の mECT 施行後  
に肺水腫を生じた症例

公立豊岡病院 麻酔科

豊永達宣、前川信博、藤田 碧、  
清水大介、高野貴司、正田丈裕

日本臨床麻酔学会第 39 回大会

2019 年 11 月 7～9 日 於：軽井沢町

圧縮空気が利用できない状況での麻酔器への空気  
供給の工夫

公立豊岡病院 麻酔科

高野貴司、清水大介、田井綾乃、  
蔭山 成、正田丈裕

第 26 回侵襲反応制御医学研究会

2020 年 2 月 1 日 於：京都市

Cervical/Submandibular Dead Space  
Filling Type Chimeric Anterolateral  
Thigh Flap and Chimeric Latissimus Dorsi  
Myocutaneous Flap Reconstruction for  
Head and Neck Cancer Surgery

公立豊岡病院 歯科口腔外科

田中太邦

10th Congress of World Society for Reconstructive

Microsurgery

2019 年 6 月 12 日～15 日 於：イタリア（ボローニャ）

当科における口腔癌再建患者の嚥下機能評価

公立豊岡病院 歯科口腔外科

村上周也

第 64 回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会

2019 年 10 月 25 日～27 日 於：札幌市

舌背部に発生した骨性分離腫の一例

公立豊岡病院 歯科口腔外科

今井琢己

第 64 回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会

2019 年 10 月 25 日～27 日 於：札幌市

エナメル上皮腫摘出後の経過観察中に偶発的に発見  
された埋伏過剰歯の一例

公立豊岡病院 歯科口腔外科

金 龍門

第 64 回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会

2019 年 10 月 25 日～27 日 於：札幌市

下顎に発生した癌肉腫の一例

公立豊岡病院 歯科口腔外科

田中太邦

第 64 回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会

2019 年 10 月 25 日～27 日 於：札幌市

## 美容外科でポリアルキルイミド注入後に生じた頬部蜂窩織炎の一例

公立豊岡病院 歯科口腔外科

西村隆克

第64回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会

2019年10月25日～27日 於：札幌市

## アルカプトン尿症によるオクロノーシスの1剖検例

公立豊岡病院 病理診断科<sup>1)</sup>

関西医科大学 小児科<sup>2)</sup>

京都第二赤十字病院 病理診断科<sup>3)</sup>

公立豊岡病院 救急集中治療科<sup>4)</sup>

PCL Japan 大阪 病理・細胞診センター<sup>5)</sup>

大阪市立大学医学部附属病院 病理診断科<sup>6)</sup>

兵庫県立がんセンター 病理診断科<sup>7)</sup>

京都大学医学部大学院 医学研究科<sup>8)</sup>

関西医科大学 名誉教授<sup>9)</sup>

足立 靖<sup>1,2)</sup>、中野麗香<sup>3)</sup>、藤原大悟<sup>4)</sup>、

坂井田紀子<sup>5,6)</sup>、酒井康裕<sup>7)</sup>、濱保英樹<sup>8)</sup>、

小林誠人<sup>4)</sup>、池原 進<sup>9)</sup>

第65回日本病理学会秋期特別総会

2019年11月7・8日 於：筑波市

## 腓 lymphoepithelial cyst の1症例

公立豊岡病院 病理診断科<sup>1)</sup>

外科<sup>2)</sup>

消化器科<sup>3)</sup>

臨床研修医<sup>4)</sup>

京都第二赤十字病院 病理診断科<sup>5)</sup>

大阪市立大学医学部附属病院 病理診断科<sup>6)</sup>

兵庫県立がんセンター 病理診断科<sup>7)</sup>

関西医科大学 名誉教授<sup>8)</sup>

足立 靖<sup>1)</sup>、杉山朋大<sup>2)</sup>、山田貴裕<sup>3)</sup>、

内山茂樹<sup>2)</sup>、芦崎太一朗<sup>4)</sup>、坪野充彦<sup>2)</sup>、

中野麗香<sup>5)</sup>、坂井田紀子<sup>6)</sup>、酒井康裕<sup>7)</sup>、

池原 進<sup>8)</sup>

第108回日本病理学会総会

2019年5月9～11日 於：東京都

## ヒトパレコウイルス3型による流行性筋痛症の1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学系研究科地域医療支

援学部門<sup>2)</sup>

芦崎太一朗<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>1)</sup>、清水健史<sup>1)</sup>、

隈部綾子<sup>1)</sup>、恒成 徹<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第116回日本内科学会総会・講演会

2019年4月26～28日 於：名古屋市

## 胸膜癒着術後に Toxic Shock Syndrome (TSS) を発症した1例

公立豊岡病院 総合診療科<sup>1)</sup>

神戸大学大学院 医学系研究科地域医療

支援学部門<sup>2)</sup>

伊藤達也<sup>1)</sup>、中治仁志<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>1)</sup>、

隈部綾子<sup>1)</sup>、見坂恒明<sup>2)</sup>

第225回日本内科学会近畿地方会

2019年9月21日 於：大阪市

## 局所麻酔下胸腔鏡検査が有用であったメトトレキサート関連リンパ増殖疾患の一例

公立豊岡病院 呼吸器内科<sup>1)</sup>

総合診療科<sup>2)</sup>

京都大学 呼吸器内科<sup>3)</sup>

血液内科<sup>4)</sup>

公立豊岡病院 病理診断科<sup>5)</sup>

河合 恵<sup>1)</sup>、中治仁志<sup>1)</sup>、杉山陽介<sup>2)</sup>、

島 寛<sup>3)</sup>、池尾 聡<sup>3)</sup>、阪森優一<sup>3)</sup>、

大塚泰幸<sup>4)</sup>、足立 靖<sup>5)</sup>

第93回日本呼吸器学会近畿地方会

2019年7月6日 於：京都市

## 高異型度粘液管状紡錘細胞腎癌の2症例

公立豊岡病院 臨床研修医<sup>1)</sup>

病理診断科<sup>2)</sup>

高知赤十字病院 病理診断科<sup>3)</sup>

東京女子医科大学附属病院 病理診断科<sup>4)</sup>

倉敷中央病院 泌尿器科<sup>5)</sup>

公立豊岡病院 泌尿器科<sup>6)</sup>

大阪市立大学医学部附属病院 病理診断科<sup>7)</sup>

京都第二赤十字病院 病理診断科<sup>8)</sup>

兵庫県立がんセンター 病理診断科<sup>9)</sup>

関西医科大学 名誉教授<sup>10)</sup>

三浦耕人<sup>1)</sup>、足立 靖<sup>2)</sup>、黒田直人<sup>3)</sup>、  
長嶋洋治<sup>4)</sup>、曲淵敏博<sup>5)</sup>、白波瀬敏明<sup>6)</sup>、  
坂井田紀子<sup>7)</sup>、中野麗子<sup>8)</sup>、酒井康裕<sup>9)</sup>、  
池原 進<sup>10)</sup>

第108回日本病理学会総会

2019年5月9～11日 於：東京都

## 終末期がん患者への持続鎮静に至る過程で医療者が葛藤した事例に関する倫理的考察

～ Jonsen4 分割法を用いて～

公立豊岡病院 緩和ケア病棟<sup>1)</sup>

看護部<sup>2)</sup>

山崎 恵<sup>1)</sup>、稲葉京子<sup>1)</sup>、由良直子<sup>1)</sup>、  
山中 忍<sup>1)</sup>、山下優子<sup>1)</sup>、峰浦綾子<sup>1)</sup>、  
奥田 恵<sup>1)</sup>、石川奈々<sup>1)</sup>、松下尚美<sup>2)</sup>、  
田中 薫<sup>2)</sup>

第24回日本緩和医療学会学術大会

2019年6月21・22日 於：横浜市

## 統合失調症患者のリハビリテーションに向けた介入 - 入院中に WRAP を導入して -

公立豊岡病院 看護部

枡尾陽介、安原沙織

第50回日本看護学会 - 精神看護 - 学術集会

2019年8月30・31日 於：福井市

## NICU 面会時における母親の主体的行動を困難にさせる要因

一ファミリーセンタードケアに関する思いー

公立豊岡病院 看護部

宇谷夕貴、安達敦子、谷ひとみ

第50回日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会

2019年9月19・20日 於：長野市

## 総合病院精神科病棟における拘束解除の成功的要因の分析 5年間身体拘束を受けた患者が拘束解除に至った事例

公立豊岡病院 看護部

藤井恭平

第58回全国自治体病院学会

2019年10月24・25日 於：徳島市

## 看護補助職員の看護ケア参画へ繋がる教育体制構築への取り組み

公立豊岡病院 看護部

関 滝江

第58回全国自治体病院学会

2019年10月24・25日 於：徳島市

## フライトナースの安全教育はインシデントを減らしているか？

公立豊岡病院 看護部<sup>1)</sup>

救急集中治療科<sup>2)</sup>

米田勝一<sup>1)</sup>、中尾佳那<sup>1)</sup>、畑中美紀<sup>1)</sup>、  
福本真也<sup>1)</sup>、森田須美<sup>1)</sup>、藤巻ゆかり<sup>1)</sup>、  
濱 武<sup>1)</sup>、小林誠人<sup>2)</sup>

第26回日本航空医療学会学術集会

2019年11月8・9日 於：富山市

## 糖尿病教育入院における療養目標の設定と感情負担改善に関する検討

公立豊岡病院 看護部<sup>1)</sup>

内分泌・糖尿病内科<sup>2)</sup>

松岡つかさ<sup>1)</sup>、大槻美紀<sup>1)</sup>、長 佳世<sup>1)</sup>、  
田中淳子<sup>1)</sup>、畑中友紀<sup>1)</sup>、岸本一郎<sup>2)</sup>

第56回日本糖尿病学会近畿地方会

2019年11月8・9日 於：大阪市

## 地方の地域がん診療連携拠点病院における乳房全切除患者の支援～乳房補整用品展示相談会を開催して～

公立豊岡病院 看護部<sup>1)</sup>

乳腺外科<sup>2)</sup>

坪野ますみ<sup>1)</sup>、田中 薫<sup>1)</sup>、遠藤真一郎<sup>2)</sup>、  
水田 誠<sup>2)</sup>

第17回日本乳癌学会近畿地方会

2019年12月7日 於：神戸市

## PCR-ribotype 027 株 による *Clostridioides difficile* 感染症 (CDI) アウトブレイク事例

公立豊岡病院 ICT<sup>1)</sup>

国立国際医療研究センター病院

AMR 臨床リファレンスセンター<sup>2)</sup>

国立感染症研究所 細菌第二部<sup>3)</sup>

吉盛奈津美<sup>1)</sup>、藤本裕子<sup>1)</sup>、今井清隆<sup>1)</sup>、  
一幡 結<sup>1)</sup>、長谷川香織<sup>1)</sup>、具 芳明<sup>2)</sup>、  
藤友結実子<sup>2)</sup>、田島太一<sup>2)</sup>、鈴木哲也<sup>2)</sup>、  
加藤はる<sup>3)</sup>、妹尾充敏<sup>3)</sup>

第35回日本環境感染学会総会・学術集会

2020年2月14・15日 於：横浜市

### 【はじめに】

当院で経験した CDI アウトブレイク事例について報告する。

### 【アウトブレイク経過】

2019年A病棟で同日に2名の患者が CDI を発症したことを契機としてアウトブレイクが発生した。ICT が介入し対策を強化したが、CDI 患者数が9名となり病棟閉鎖を行った。また国立国際医療研究センターの感染症対策支援サービスを通じ、AMR 臨床リファ

レンスセンターの指導を受け対策を継続した。アウトブレイクを把握してからの4ヶ月間に CDI 患者数は16名となり、そのうち5名は病棟閉鎖解除後に CDI を発症した。16名の CDI 患者からの分離菌株のうち、タイピング解析を行う事ができた11株全株が、同一タイプ PCR-ribotype (RT) 027 であった。A 病棟以外の病棟で同時期に CDI を発症した患者からの分離菌株で、解析が可能であった6株では RT027 と同定される株はなかった。

### 【考 察】

RT027 株の分離は A 病棟の患者に限局していた。A 病棟での標準予防策および接触予防策の破綻や退室後の病室清掃を含めた環境整備に問題があり、アウトブレイクが発生したと考えられた。現在のところ、国内での RT027 株による CDI の報告例は散発例のみである。今回のアウトブレイク株である RT027 株はガチフロキサシンおよびモキシフロキサシン感性であったため、今後更なる検討が必要である。

## 転倒から急性硬膜下血腫を来した事例からの一考察

公立豊岡病院 緩和ケア病棟<sup>1)</sup>

看護部<sup>2)</sup>

山崎 恵<sup>1)</sup>、松下尚美<sup>1)</sup>、田中 薫<sup>2)</sup>

第34回日本がん看護学会学術集会

2020年2月22・23日 於：東京都

## 抗がん剤自己管理ノートの作成と運用

公立豊岡病院 薬剤部<sup>1)</sup>

看護部<sup>2)</sup>

木瀬大輔<sup>1)</sup>、松下 葵<sup>1)</sup>、大垣孝文<sup>1)</sup>、  
中永かおり<sup>1)</sup>、霜倉智子<sup>1)</sup>、中村さやか<sup>2)</sup>、  
渡邊美樹<sup>2)</sup>、岩崎重幸<sup>1)</sup>

第58回全国自治体病院学会

2019年10月24・25日 於：徳島市

### 【目 的】

がん患者の副作用情報を把握することは、治療を継続していく上で非常に重要である。近年では薬剤師外来を通し、患者情報のフィードバックを行っている施設もあるが当院では取り組めていない。そこで、患者自身に副作用情報や疑問点を記載してもらい、医師・

看護師・薬剤師、将来的には薬局薬剤師とも情報共有を見据えた「自己管理ノート」を作成したので運用状況について報告する。

## 【方 法】

自己管理ノートの記載内容については化学療法担当薬剤師と外来化学療法室スタッフで相談して決定した。自己管理ノートは、入院で化学療法を導入する患者には病棟担当薬剤師より提供し、外来導入の患者には化学療法室スタッフより提供することとし、外来抗がん剤治療における患者の自己管理ノート持参率及び使用率を確認した。また同時に、がん患者からの電話相談件数も集計した。

集計期間：2019年5月の1ヶ月間

## 【結 果】

自己管理ノートは外来化学療法の流れ・免疫チェックポイント阻害薬を含めた抗がん剤副作用とその対策（特に下痢、手足症候群、発熱時の対応等）・副作用日誌・ポート管理・次回予約表などの情報を入れ込み作成した。集計した1ヶ月間の外来化学療法件数は266件で、外来化学療法時に自己管理ノートを持参した患者の割合は77.1%、持参した患者の中で自己管理ノートを活用している割合は74.5%という結果が得られた。また、化学療法室への電話相談は12件であった。

## 【結 論】

自己管理ノートの中に、次回予約記載ページや日々の副作用日誌ページを設けていることから患者、スタッフ双方にとって利便性が良く、高い持参率と利用率が得られたと考えている。また、発熱時等に患者自身が対応できるよう、フローを盛り込んでいることから、患者にとって安心感が得られるツールとなっており、外来化学療法室への電話相談も気軽に行えている。本ツールは病院スタッフでなくても患者の同意さえあれば調剤薬局でも閲覧可能であるため地域の薬局にも紹介していき、将来的には薬業連携の一つのツールとして活用を検討していきたい。

尚、現在予算がついておらず個人で製本しているため、今後は病院に予算請求していきたい。

## 経皮的僧帽弁修復術 (MitraClip<sup>®</sup>) 後に経胸壁心エコー図検査を施行した1症例

公立豊岡病院 検査技術科

宇野矢紀

第40回兵庫県臨床検査技師会

丹波・但馬地区研修会発表演題抄録

2019年6月16日 於：豊岡市

## 〔はじめに〕

僧帽弁閉鎖不全症 (MR) に対する経皮的僧帽弁修復術（以下、修復術）の一つに僧帽弁前尖と後尖をクリップ把持しMRを減少させるカテーテル治療 (MitraClip<sup>®</sup>) がある。外科手術のリスクが高いと判断された場合に適応となり日本では2018年4月に保険償還となった。今回、MitraClip<sup>®</sup> による修復術後に経胸壁心エコー図検査 (TTE) を施行した症例を経験したので報告する。

## 〔症 例〕

70歳代女性

## 〔現病歴〕

修復術21年前より拡張型心筋症、MR、心房細動にて加療。同7年前よりMR増悪による心不全症状悪化 (NYHA-3) を認めるも低血圧・腎機能低下等にて薬剤療法強化は困難、また低左心機能にて外科手術は高リスクと判断されていた。MitraClip<sup>®</sup> の保険償還決定後、MR治療目的に他院紹介、入院精査後MitraClip<sup>®</sup> による修復術適応ありと判断され、紹介後7か月で施行となった。

## 〔合併症〕

慢性腎臓病、糖尿病

## 〔エコー所見〕

手術前後のTTE所見（術前→術後22日）を以下に示す。

左室拡張末期容積及び収縮末期容積 (136mL/81mL → 130mL/83mL)、左室駆出率 (40% → 36%)、左房容積 (287mL → 277mL)、左室流出路血流速積分値 (9.2cm → 9.3cm) は著変認めず。MR (中等度～高度→軽度～中等度)、三尖弁収縮期圧較差 (41mmHg → 28mmHg) は改善を認めた。修復術後の僧帽弁口面積 (MVA) 及び左房-左室平均

圧較差 (MPG) は前交連側で  $1.4\text{cm}^2/3.2\text{mmHg}$ 、後交連側で  $1.6\text{cm}^2/2.9\text{mmHg}$  であった。クリップの固定は良好であり、クリップ周囲の弁形態異常 (弁穿孔など) や異常血流は認めなかった。また、心房中隔壁に短絡血流の残存を認めた。

## 【考 察】

修復術後の僧帽弁は重複弁口となるため MVA、MPG は各々の評価が必須である。術後 MVA は総和で評価を行うが通常、開口面積は術前より減少する。術後の残存 MR は中等度まで成功とされる。ただし現時点では明確な評価方法は確立していない。

本症例の MVA は総和  $3\text{cm}^2$ 、MPG は最大  $3.2\text{mmHg}$  と狭窄所見は認めなかった。残存 MR は中等度以下、クリップとその周囲の弁形態に異常所見も認めなかった。左室リモデリング・左室収縮能改善については中長期的評価が必要と考えられた。

## 【結 語】

MitraClip<sup>®</sup> による修復術後の TTE では一般的な外科手術後の評価項目に加え、重複僧帽弁口各々の MVA・MPG、心房中隔壁に残存する短絡血流、またクリップとその周囲の弁形態の観察が重要であった。本症例にて MitraClip<sup>®</sup> による修復術後の TTE 評価ポイントを確認し得た。

## 当院で経験した肝蛭症の 1 例

公立豊岡病院 検査技術科

吉野裕美

日本超音波検査学会 第 32 回関西地方学術集会

2019 年 11 月 10 日 於: 大阪市

## 【はじめに】

肝蛭症は、肝蛭による寄生虫疾患である。肝蛭は牛や羊などの草食哺乳類の胆管系に高率に寄生しているが、人畜共通感染症として人体にも寄生することがある。今回、我々は画像診断にて肝内の多発性腫瘍性病変と鑑別困難であった肝蛭症を経験したので報告する。

## 【症 例】

80 代女性

## 【主 訴】

全身倦怠感、食欲不振

## 【現病歴】

20XX 年 12 月全身倦怠感と食欲不振を自覚し他院にて WBC・CRP・ALP 上昇あり、腹部エコーにて総胆管に 4mm の結石を認め、胆管炎と診断され、外来加療された。1 か月後、WBC・CRP さらに上昇あり、精査目的にて当院消化器科を受診した。

## 【腹部エコー所見】

右葉前外側区域に  $73 \times 35\text{mm}$  の境界明瞭、内部不均一な無～低エコー域 (+)。右葉後下区域に  $15 \times 12\text{mm}$  の hump sign と halo を伴う、境界不明瞭で内部不均一な低～等輝度腫瘍 (+)

## 【抗寄生虫抗体スクリーニング検査】

肝蛭 (2+) 肝吸虫 (2+) 宮崎肝吸虫 (+) イヌ糸状虫 (+)

## 【Multiple-ELISA 法 (宮崎大学医学部寄生虫学講座)】

肝蛭 (2+) 宮崎肺吸虫 (+) イヌ糸状虫 (+)

## 【考 察】

肝蛭症の症状は主に幼虫が肝実質に侵入し遊走しながら肝実質を破壊する 2 ヶ月間とその修復に要する 1 ヶ月間を併せ感染後 1 週間～3 ヶ月間に認められるが、この時期には虫卵、虫体は証明されにくく寄生虫疾患としての診断は困難である。また、画像診断でも肝蛭症に特有の所見は報告されておらず、血清学的検査により診断される。我々が経験した症例でも、境界不明瞭・内部不均一な低エコー域が認められ肝膿瘍や肝細胞癌などの腫瘍性病変と鑑別困難であった。

## 【結 語】

肝臓に超音波検査や CT 検査で多発性の腫瘍性病変を認め好酸球増多を伴う症例では、肝蛭症の可能性も疑い、適切な血清学的検査を併施することが重要と考えられた。

## 一般撮影におけるタイムアウト導入による再撮影率低減への効果

公立豊岡病院 放射線技術科

丹波浩二、林 直樹、田村和豊

第 35 回日本診療放射線技師学会学術大会

2019 年 9 月 16 日 於：大宮ソニックシティ

### 【目 的】

被ばく低減の観点から、再撮影の低減に努める事が求められている。当院の一般撮影における再撮影の要因を分析すると、ポジショニング不良に次いで FPD 及び AEC の誤選択等が多く、確認不足が原因であると考えられた。そこで、本研究では一般撮影においてタイムアウトを導入することにより再撮影率を低減できるか検討した。

### 【方 法】

撮影時に、患者名・検査部位・FPD・AEC を指差し呼称にて確認するタイムアウトを行い、富士フィルム社「ASSISTA Management」と自作チェックシートを用いて対策前後それぞれ 3 ヶ月間の再撮影率を比較分析した。

### 【結 果】

対策前後で再撮影率は全体で 7.1% から 6.4% に低減した。そのうち、タイムアウトの確認事項に起因する再撮影率は 0.6% から 0.1% に低減した。

### 【結 論】

一般撮影におけるタイムアウト導入は、検査への意識レベルを上げ、確認の精度を向上させることで確認不足による誤曝射を防ぎ、再撮影率低減に寄与したと考える。

## CT 画像再構成関数が及ぼす放射線治療への影響

公立豊岡病院 放射線技術科

林 直樹

第 58 回全国自治体病院学会

2019 年 10 月 24・25 日 於：徳島市

## RE-AIM モデルによる兵庫県豊岡市「歩いて暮らすまちづくり条例」の評価

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科<sup>1)</sup>

帝京平成大学 健康メディカル学部理学療法学科<sup>2)</sup>

西田昌平<sup>1)</sup>、佐藤真治<sup>2)</sup>

第 22 回日本運動疫学会学術総会

2019 年 6 月 22・23 日 於：横浜市

## A structural equation analysis of the influence of social capital factors on physical activity

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科<sup>1)</sup>

帝京平成大学 健康メディカル学部理学療法学科<sup>2)</sup>

西田昌平<sup>1)</sup>、佐藤真治<sup>2)</sup>

24th annual Congress of the European College of  
Sports Science

2019 年 7 月 3～6 日 於：Prague (Czech Republic)

## 右視床部脳梗塞により座位・立位・歩行時の不安定性を呈した症例

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科

守本諒汰

第 31 回兵庫県理学療法学会学術大会

2019 年 7 月 21 日 於：神戸市

## 体外式膜型人工肺装着患者の理学療法介入に伴う乳酸値の変化に着目した 1 症例

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科<sup>1)</sup>

臨床工学技術科<sup>2)</sup>

但馬救命救急センター<sup>3)</sup>

山田和希<sup>1)</sup>、西田昌平<sup>1)</sup>、尾田友広<sup>2)</sup>、  
藤田健亮<sup>3)</sup>

第 6 回日本呼吸理学療法学会学術大会

2019 年 11 月 10 日 於：名古屋市

機械による咳介助（MI-E）導入で肺炎での入院  
が回避できた重症心身障害児 / 者の 2 症例

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科<sup>1)</sup>

小児科<sup>2)</sup>

小谷栄恵<sup>1)</sup>、港 敏則<sup>2)</sup>

第 52 回日本小児呼吸器学会

2019 年 11 月 16 日 於：鹿児島市

リードポジションチェックでの夜間不快感により  
外来受診するも 2 度の外来で原因が突き止められ  
なかった一例

公立豊岡病院 臨床工学技術科<sup>1)</sup>

循環器内科<sup>2)</sup>

尾田友広<sup>1)</sup>、山中彰浩<sup>1)</sup>、西田裕樹<sup>1)</sup>、

大川 凌<sup>1)</sup>、加藤航平<sup>1)</sup>、上岡翔太<sup>1)</sup>、

田中慎二<sup>1)</sup>、田中雅人<sup>1)</sup>、後藤佳子<sup>1)</sup>、

福井秀行<sup>1)</sup>、石田明彦<sup>2)</sup>

第 12 回植込みデバイス関連冬期大会

2020 年 2 月 6～8 日 於：名古屋市

ECMO 回路内圧測定におけるトランスデューサー  
とカルディオプレスでの性能比較検討

公立豊岡病院 臨床工学技術科<sup>1)</sup>

但馬救命救急センター<sup>2)</sup>

尾田友広<sup>1)</sup>、山中彰浩<sup>1)</sup>、西田裕樹<sup>1)</sup>、

大川 凌<sup>1)</sup>、加藤航平<sup>1)</sup>、上岡翔太<sup>1)</sup>、

田中慎二<sup>1)</sup>、田中雅人<sup>1)</sup>、後藤佳子<sup>1)</sup>、

福井秀行<sup>1)</sup>、小林誠人<sup>2)</sup>

第 47 回日本集中治療医学会 学術集会

集合型学術集会を見送り、オンデマンド配信による開催

(2020 年 4 月 28 日～2021 年 1 月 31 日)

2020 年 3 月 6～8 日 於：名古屋市

# 救急集中治療科業績

## 原著・症例報告・総説

原著（短報） 筆頭

敗血症診断において腎機能がプレセプシン値に与える影響の検討

星野あつみ、佐藤紘一、後藤 保、  
藤崎 修、前山博樹、松井大作、  
番匠谷友紀、小林誠人

日集中医誌 2019;26:125-6.

原著 共著

Field Assessment of Critical Stroke by  
Emergency Services for Acute Delivery to  
a Comprehensive Stroke Center: FACE2AD

Yoshinori Okuno, Hiroshi  
Yamagami, Hiroharu Kataoka,  
Yoshio Tahara, Shuichi  
Tonomura, Hidemori Tokunaga,  
Taichiro Imahori, Daisaku  
Matsui, Makoto Kobayashi,  
Hirotoshi Imamura, Nobuyuki  
Sakai, Jun C Takahashi,  
Kazunori Toyoda, Kazuyuki  
Nagatsuka, Masafumi Ihara

Translational Stroke Research. DOI 10.1007/s12975-  
019-00751-6

原著 共著

地域メディカルコントロール協議会における救急  
隊の12誘導心電図記録と伝送の実態調査

野々木 宏（静岡県立総合病院 集中  
治療センター）、安田康晴、今井 寛、  
太田祥一、小澤和弘、木下順弘、  
小林誠人、高階謙一郎、森村尚登、  
山野上敬夫、山村 仁、脇田佳典、  
横田順一郎

心臓 51 巻8号 Page800-805(2019.08)

総説 筆頭

救急部門で出会う感染症（症候別）蜂窩織炎・壊  
死性筋膜炎 初期治療から診断に向けた動き

小林誠人

Emer Log32 巻6号 Page889-892(2019.12)

症例報告 筆頭

胃壊死・胃穿孔から敗血症性ショックに至った胃  
軸捻転症の1小児手術例

上田泰弘、和田大和、濱上知宏、  
大江崇史、番匠谷友紀、小林誠人

Japanese Journal of Acute Care Surgery

2019; 9: 295-298

症例報告 筆頭

ヨードホルムガーゼにより意識障害をきたしたと  
考えられる1症例

渡辺倫夫、濱上知宏、松井大作、  
番匠谷友紀、小林誠人

Japanese Journal of Acute Care Surgery

2019; 9: 304-307

原著 共著

救急現場における自動式人工呼吸器の使用に関す  
る実態調査

安田康晴、今井 寛、太田祥一、  
木下順弘、小林誠人、野々木 宏、  
山村 仁、脇田佳典、森村尚人、  
横田順一郎、日本臨床救急医学会メ  
ディカルコントロール検討委員会

日本臨床救急医学会雑誌 23 巻1号 Page36-41(2020.02)

## 学会等発表

外科医が災害医療を実践するためには何が必要か？  
[パネルディスカッション]

小林誠人

第119回日本外科学会  
2019年4月18～20日 於：大阪国際会議場

空翔る救命救急医が語るドクターヘリの真実 [特別講演]

小林誠人

JAIFA（公益財団法人 生命保険ファイナンシャル  
アドバイザー協会）鳥取県協会主催講演  
2019年5月25日 於：とりぎん文化会館

プロトコールは救急隊、MC 従事医師で共有する  
[シンポジウム関連]

小林誠人

第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会  
2019年5月30日～6月1日 於：和歌山県民文化会館

病院前救急診療を活かす創意工夫、思いつくままに  
[共催セミナー]

小林誠人

第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会  
2019年5月30日～6月1日 於：和歌山県民文化会館

小児傷病者の病院前救護と診療における課題と展望～小児の病院前救急診療は救急医が行うべきである～ [パネルディスカッション]

後藤 保

第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会  
2019年5月30日～6月1日 於：和歌山県民文化会館

アナフィラキシーショックに病院前救急診療は有効か [シンポジウム関連]

松村圭祐

第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会  
2019年5月30日～6月1日 於：和歌山県民文化会館

ドクターヘリ運用で心肺停止蘇生後の社会復帰率は改善するか [一般演題（ポスター）]

村尾允弥

第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会  
2019年5月30日～6月1日 於：和歌山県民文化会館

心原性心停止後症候群患者の体温管理療法に筋弛緩薬投与は必須か？ [一般演題（ポスター）]

華房宏成

第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会  
2019年5月30日～6月1日 於：和歌山県民文化会館

我々が経験してきた局地災害対応～外傷外科医だから出来たこと、出来ること～ [教育講演]

小林誠人

第33回日本外傷学会総会・学術集会  
2019年6月6・7日 於：八戸市公会堂

ケースカンファレンス [座長]

小林誠人

第33回日本外傷学会総会・学術集会  
2019年6月6・7日 於：八戸市公会堂

最適な大動脈遮断を適応する [パネルディスカッション]

小林誠人

第33回日本外傷学会総会・学術集会  
2019年6月6・7日 於：八戸市公会堂

**Damage Control Ground 0を担う病院前救急診療の実際【パネルディスカッション】**

**松村圭祐**

第33回日本外傷学会総会・学術集会  
2019年6月6・7日 於：八戸市公会堂

**経カテーテル的子宮動脈塞栓術で止血し得た原因不明の遅発性分娩後出血の1例【一般演題（口演）】**

**吉田 陽**

第120回日本救急医学会近畿地方会  
2019年7月20日 於：大阪国際交流センター

**小児痙攣重積患者に対する迅速な薬剤投与の必要性とその方略【一般演題（口演）】**

**後藤 保**

第33回日本小児救急医学会学術集会  
2019年6月21日 於：大宮ソニックシティ

**安心安全な但馬地域を支える救急医療，これまでとこれから【教育講演】**

**小林誠人**

養父市講演（やぶ医者大賞授賞式特別講演）  
2019年8月24日 於：養父市立ビバホール

**空翔る救命救急医が語るここだけの話【教育講演】**

**小林誠人**

鳥取市立若葉台小学校講演  
2019年7月5日 於：鳥取市立若葉台小学校

**ABThera™ を使ってみた【シンポジウム】**

**小林誠人**

第9回近畿救急局所陰圧閉鎖療法研究会  
2019年9月14日 於：新阪急ホテル

**但馬救命救急センターが取り組む救急医療システム，ここだけの話し【特別講演】**

**小林誠人**

WEB SEMINOR  
2019年7月11日 於：公立豊岡病院但馬救命救急センター

**空翔る救命救急医が語るここだけの話【教育講演】**

**小林誠人**

鳥取市立世紀小学校講演  
2019年9月18日 於：鳥取市立世紀小学校

**理想的な地域救急医療体制を模索し続ける【パネルディスカッション】**

**小林誠人**

第120回日本救急医学会近畿地方会  
2019年7月20日 於：大阪国際交流センター

**パネルディスカッション「ドクターヘリの展望と課題」【座長】**

**小林誠人**

第47回日本救急医学会総会・学術集会  
2019年10月2～4日 於：東京国際フォーラム

**ECMO導入に伴う右大腿動脈穿刺部出血による後腹膜出血、出血性ショックの1例【一般演題（口演）】**

**大上真理子**

第120回日本救急医学会近畿地方会  
2019年7月20日 於：大阪国際交流センター

**病院前診療の質はメディカルコントロール体制で決まる【シンポジウム】**

**小林誠人**

第47回日本救急医学会総会・学術集会  
2019年10月2～4日 於：東京国際フォーラム

委員会企画：救急医キャリアと妊活の両立【シンポジウム】

番匠谷友紀

第 47 回日本救急医学会総会・学術集会  
2019 年 10 月 2～4 日 於：東京国際フォーラム

地域唯一の救命救急センターでの Acute Care Surgery の実践【パネルディスカッション】

濱上知宏

第 47 回日本救急医学会総会・学術集会  
2019 年 10 月 2～4 日 於：東京国際フォーラム

小児救命救急医療の地域格差を埋める方略【パネルディスカッション】

後藤 保

第 47 回日本救急医学会総会・学術集会  
2019 年 10 月 2～4 日 於：東京国際フォーラム

keyword 方式は有効か【パネルディスカッション】

松村圭祐

第 47 回日本救急医学会総会・学術集会  
2019 年 10 月 2～4 日 於：東京国際フォーラム

救急外来における CT 所見の見逃しを無くす方略【一般演題（口演）】

山岡由季

第 47 回日本救急医学会総会・学術集会  
2019 年 10 月 2～4 日 於：東京国際フォーラム

但馬で生きる、活かされる【教育講演】

小林誠人

関宮小中学校 PTA 講演会  
2019 年 10 月 11 日 於：関宮小中学校

空翔る救命救急医が語るここだけの話【教育講演】

小林誠人

鹿野学園講演会  
2019 年 10 月 18 日 於：鹿野学園

Acute Care Surgeon が出血を制御する【共催セミナー】

小林誠人

第 11 回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会  
2019 年 10 月 25・26 日 於：沖縄科学技術大学院大学

パネルディスカッション 1 「高齢者および Frail patient に対応できる Acute Care Surgeon を目指して」【座長】

小林誠人

第 11 回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会  
2019 年 10 月 25・26 日 於：沖縄科学技術大学院大学

「内臓動脈瘤、動脈解離の診断と治療」当地域の孤立性腹部内蔵動脈解離の現状【パネルディスカッション】

濱上知宏

第 11 回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会  
2019 年 10 月 25・26 日 於：沖縄科学技術大学院大学

肋軟骨部を含む観血的肋骨固定術による胸壁再建を施行した 1 手術例【一般演題（口演）】

華房宏成

第 11 回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会  
2019 年 10 月 25・26 日 於：沖縄科学技術大学院大学

脳性麻痺患者の側彎が誘因となり絞扼性イレウスを発症した Chilaiditi 症候群の 1 手術例【一般演題（口演）】

吉田 陽

第 11 回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会  
2019 年 10 月 25・26 日 於：沖縄科学技術大学院大学

消化管穿孔・腸管壊死に起因する敗血症性ショックを救い上げる【シンポジウム】

小林誠人

第 30 回日本急性血液浄化学会学術集会  
2019 年 10 月 26 日  
於：アクトシティ浜松コンgresセンター

**一般演題 13 諸問題への対応【座長】**

**小林誠人**

第 26 回日本航空医療学会総会

2019 年 11 月 8・9 日 於：富山県民会館

**脳卒中に対するドクターヘリの有効性【一般演題（口演）】**

**松井大作**

第 26 回日本航空医療学会総会

2019 年 11 月 8・9 日 於：富山県民会館

**ドクターヘリにおける機内治療は安全かつ現場滞在時間を短縮する【一般演題（口演）】**

**松村圭祐**

第 26 回日本航空医療学会総会

2019 年 11 月 8・9 日 於：富山県民会館

**総会特別企画「地域医療を考える」Acute Care Surgery 体制構築で地域の外科医療体制を守る【パネルディスカッション】**

**濱上知宏**

第 81 回日本臨床外科学会総会

2019 年 11 月 14～16 日 於：高知市

**学校の危機管理と救急医療について【特別講演】**

**小林誠人**

平成 31 年度兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会

2019 年 11 月 21 日 於：朝来・ささゆりホール

**多職種でつなぐ seamless な画像診断～Time is Life の実践～【特別講演】**

**小林誠人**

第 30 回医用画像研究会

2019 年 12 月 14 日 於：ラッセホール（神戸）

**基幹道路ネットワークの充実が医療現場にもたらす効果について【シンポジウム】**

**小林誠人**

基幹道路ネットワークシンポジウム

2019 年 12 月 18 日 於：豊岡市民プラザ

**病院前救急診療（ドクターヘリ、ドクターカー）を有効活用した結果、ここだけのお話し【教育講演】**

**小林誠人**

第 70 回日本救急医学会関東地方会

2020 年 1 月 18 日

於：ベイシア文化ホール・前橋商工会議所

**ドクターヘリ・ドクターカーを有効活用する！【パネルディスカッション】**

**小林誠人**

第 28 回全国救急隊員シンポジウム

2020 年 1 月 28・29 日 於：仙台国際センター

**病院前救急診療を活かす創意工夫、ここだけの話【特別講演】**

**小林誠人**

兵庫県立尼崎医療センタードクターカー検討会

2020 年 2 月 26 日 於：兵庫県立尼崎医療センター

**Cardiac ECMO を用いた敗血症性ショック／Sepsis Induced Myocardial Dysfunction に対する蘇生戦略【シンポジウム】**

**小林誠人**

第 47 回日本集中治療医学会学術集会

2020 年 3 月 6～8 日 於：WEB

**集う！救急科を基本領域とした集中治療医たち【パネルディスカッション】**

**松井大作**

第 47 回日本集中治療医学会学術集会

2020 年 3 月 6～8 日 於：WEB

# 院内研究会

## 医局研究会

| 科 名       | 演 者 名   | 演 題 名                | 年 月 日          |
|-----------|---------|----------------------|----------------|
| 整 形 外 科   | 山 脇 佑 介 | 大腿骨近位部骨折の診断と治療       | 平成31年 4 月 25 日 |
| 泌 尿 器 科   | 渡 部 淳   | 一般内科診療に必要な前立腺疾患の基礎知識 | 令和元年 5 月 30 日  |
| 産 婦 人 科   | 下 中 慎 平 | HPV ワクチンと子宮頸がん       | 令和元年 6 月 27 日  |
| 脳 神 経 外 科 | 石 井 大 嗣 | 脳梗塞をぶっとばす～血栓回収を中心に～  | 令和元年 8 月 29 日  |
| 麻 酔 科     | 岡 村 章 平 | ペインクリニック始まりました       | 令和元年 9 月 26 日  |
| 病 理 診 断 科 | 足 立 靖   | 悪性リンパ腫の病理診断について      | 令和元年 10 月 31 日 |
| 放 射 線 科   | 杉 山 朋 加 | 造影剤副作用のリスク評価とマネージメント | 令和元年 11 月 28 日 |

## 令和元年度 招待講演会

| 所 属                 | 身 分                     | 氏 名   | 月 日                | 講 演 名                                                                                                                                                                     |
|---------------------|-------------------------|-------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 京都大学大学院             | 准教授                     | 松本 繁巳 | 令和元年 5 月 10 日      | 「がん治療のパラダイムシフト<br>～がんゲノム医療の到来～」                                                                                                                                           |
| 加古川中央市民病院           | 循環器内科                   | 中村 浩彰 | 令和元年 6 月 7 日       | 医療安全教育講演会「静脈血<br>栓塞栓症のリスクマネジメン<br>ト～加古川中央市民病院の実<br>情～」                                                                                                                    |
| 関西医科大学              | 助 教                     | 佐藤 智佳 | 令和元年 7 月 12 日      | 遺伝性腫瘍講演会                                                                                                                                                                  |
| 神戸大学医学部附属病院         | 特定助教                    | 坂下 明大 | 令和元年 9 月 6 日       | 医療安全教育講演会「治療が難<br>しい患者とのコミュニケーション<br>～悪い知らせの伝え方～」                                                                                                                         |
| 京都大学医学部附属病院         | 特定病院助教                  | 川島 啓嗣 | 令和元年 9 月 21 日      | 病院勤務の医療従事者向け認<br>知症対応力向上研修会                                                                                                                                               |
| 三重大学大学院             | 教 授                     | 丸山 一男 | 令和元年 10 月 4 日      | 教育講演「輸液の考えかた～<br>はじめの一步」                                                                                                                                                  |
| 兵庫県立淡路医療セン<br>ター    | 小児科                     | 運崎 愛  | 令和元年 10 月 5 日      | 第74回但馬地区小児科医懇話<br>会                                                                                                                                                       |
| 加古川中央市民病院           | 総合内科                    | 金澤 健司 | 令和元年 10 月 21 日     | 教育講演「場面で考える<br>身体診察－Forward and<br>Backward chaining－」                                                                                                                    |
| 洛和会音羽病院             | 副院長                     | 神谷 亨  | 令和元年 11 月 1 日      | 院内感染防止研修会「本当は<br>難しいMRSA・MSSAのマネー<br>ジメント」                                                                                                                                |
| 京都大学大学院             | 医学研究科長                  | 岩井 一宏 | 令和元年 11 月 23 日     | 第11回芝蘭会近畿北支部会学<br>術講演会                                                                                                                                                    |
| 兵庫県立こども病院           | 救急総合診療科                 | 林 卓郎  | 令和 2 年 1 月 11 日    | 第75回但馬地区小児科医懇話会                                                                                                                                                           |
| 北九州市立八幡病院           | 小児救急・小児<br>総合医療セン<br>ター | 神薊 淳司 | 令和 2 年 1 月 17・18 日 | こども虐待防止ための講演会<br>1 日目『地域で防ごう！こども<br>虐待Ⅰ』～医療・行政・警察・<br>司法の連携～「ケースシナリオ<br>で学ぶ子ども虐待危急対応」<br>2 日目『地域で防ごう！こども<br>虐待Ⅱ』～医療・保健・教育機<br>関との連携～「地域で支えよう<br>子ども虐待～詳細な事例検証に<br>チャレンジ～」 |
| 京都市こころの健康増<br>進センター | 所 長                     | 波床 将材 | 令和 2 年 2 月 7 日     | メンタルヘルス講演会                                                                                                                                                                |
| 滋賀医科大学              | 学 長                     | 塩田 浩平 | 令和 2 年 2 月 28 日    | 特別講演会「国立病院と大学<br>附属病院を巡る最近の動向に<br>ついて」                                                                                                                                    |

# 講演

| 診療科・所属 | 演 者 名 | 題 名                          | 講演会名・開催地・年月日                                       |
|--------|-------|------------------------------|----------------------------------------------------|
| 脳神経内科  | 松島 一士 | 頭痛の診かた                       | 第47回但馬脳神経内科カンファレンス<br>(豊岡市) 令和元年6月15日              |
|        |       | CIDP,MMN の治療について             | 日本製薬株式会社社内教育講演<br>(豊岡市) 令和元年9月5日                   |
|        |       | しびれの診かた ～その①～                | 第48回但馬脳神経内科カンファレンス<br>(豊岡市) 令和元年11月1日              |
|        |       | 神経難病のケア                      | 令和元年度難病患者保護指導等指導者養成研修(養父市) 令和2年1月29日               |
|        | 横手 明義 | 高齢者の抗凝固療法について                | 脳卒中を考える会 in 豊岡 (豊岡市)<br>令和元年12月13日                 |
|        | 伊賀 賢一 | 脳梗塞と癌                        | 第47回但馬脳神経内科カンファレンス<br>(豊岡市) 令和元年6月15日              |
|        |       | 可逆性脳血管痙縮症候群により脳梗塞をきたした症例について | 第48回但馬脳神経内科カンファレンス<br>(豊岡市) 令和元年11月1日              |
|        | 三宅 智彬 | 延髄背外側に限局した脳梗塞による回転性めまい症の症例   | 第47回但馬脳神経内科カンファレンス<br>(豊岡市) 令和元年6月15日              |
|        |       | 左放線冠梗塞で吃音を呈した症例              | 第48回但馬脳神経内科カンファレンス<br>(豊岡市) 令和元年11月1日              |
| 呼吸器内科  | 中治 仁志 | 兵庫県但馬地区の喘息                   | ノバルティス ファーマ株式会社社内研修会 (豊岡市) 令和元年6月25日               |
|        |       | 但馬圏域における結核の現状について            | 令和元年度 結核の早期発見・治療完遂のための医療従事者研修会 (豊岡市)<br>令和元年10月10日 |
|        |       | ～喘息患者さんを取り巻く現状～<br>喘息治療の変遷   | 但馬Asthma Seminar (豊岡市)<br>令和元年12月5日                |
| 消化器科   | 上田 通雅 | 炎症性腸疾患                       | 田辺三菱製薬(株) 講師招聘勉強会<br>(豊岡市) 令和2年1月24日               |
|        |       | 知って得する大腸癌のおはなし               | 令和元年度市民健康大学講座 (豊岡市)<br>令和元年10月16日                  |
|        | 山田 貴裕 | 当院における早期胃癌 ESD の現状           | 酸関連疾患を考える会 in Tajima<br>(豊岡市) 令和元年6月14日            |
|        | 清水 辰宣 | 消化器領域の知っておきたい豆知識             | 但馬内科Joint Conference (豊岡市)<br>令和元年10月2日            |
|        | 竹中 淳雄 | 肝硬変治療の戦略                     | 但馬 Liver カンファレンス (豊岡市)<br>令和元年12月3日                |

| 診療科・所属          | 演 者 名 | 題 名                                                      | 講演会名・開催地・年月日                                               |
|-----------------|-------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 循環器内科           | 山邊 健司 | $\beta$ 遮断薬について                                          | トーアエイヨー株式会社 社内勉強会<br>(豊岡市) 令和元年6月19日                       |
| 内 分 泌・<br>糖尿病内科 | 岸本 一郎 | 糖尿病診療の地域連携に関する調査から見えてきたこと～糖尿病対策推進会議・豊岡市医師会アンケートより～       | 地域で高める糖尿病診療 in TAJIMA<br>(豊岡市) 令和元年5月30日                   |
|                 |       | 豊岡市の糖尿病診療と SGLT2 阻害薬について                                 | 但馬地区糖尿病学術講演会 (豊岡市)<br>令和元年6月5日                             |
|                 |       | 糖尿病予防                                                    | 但馬文教府みてやま学園第3回専門講座A<br>(豊岡市) 令和元年7月19日                     |
|                 |       | 糖尿病予防                                                    | 但馬文教府みてやま学園第3回専門講座B<br>(豊岡市) 令和元年8月2日                      |
|                 |       | 腎臓を悪くしないためには～豊岡市のデータから～                                  | 令和元年度市民健康大学講座 (豊岡市)<br>令和元年9月4日                            |
|                 |       | SGLT2 阻害薬の位置づけ                                           | Diabetes Network Meeting in Yoka<br>(養父市) 令和元年11月7日        |
|                 |       | 糖尿病診療における食事療法の課題                                         | 地域で高める糖尿病診療 in TAJIMA<br>(豊岡市) 令和元年11月21日                  |
|                 |       | 豊岡市における糖尿病地域連携、療養指導および薬剤治療の実際                            | Diabetes&Incretin Seminar in 豊岡<br>(豊岡市) 令和元年12月20日        |
| 精 神 科           | 安藝 森央 | 地域における統合失調症の現状と治療～新たな選択肢～                                | LT Japan Web セミナー (Web配信)<br>令和2年3月11日                     |
|                 | 桂木賢太郎 | アルコール多飲患者への対応<br>但馬地域の医療資源と展望                            | プライマリケアにおけるアルコール問題<br>について考える会 (豊岡市)<br>令和元年11月27日         |
|                 |       | 家族のための対処法「CRAFT」について<br>子育て中のアルコール依存の女性と本人を<br>否定する家族の対応 | 令和元年度アルコール依存症者の事例検<br>討会 (豊岡市) 令和2年3月2日                    |
| 小 児 科           | 藤林 洋美 | 小児の慢性便秘                                                  | 第26回兵庫県薬剤師会但馬支部・兵庫県<br>病院薬剤師会但馬支部共催研修会<br>(豊岡市) 平成31年4月17日 |
|                 | 市川 裕太 | その患者、もしかして<br>ファブリー病じゃないですか？                             | 第74回但馬地区小児科医懇話会<br>(豊岡市) 令和元年10月5日                         |
|                 | 西田 敬弘 | 異なる経過をたどった発作性上室性頻拍の2<br>例                                | 第75回但馬地区小児科医懇話会<br>(豊岡市) 令和2年1月11日                         |
| 新 生 児 科         | 上田 雅章 | 乳幼児の病気のはなし～教えて！家でできる<br>対処と病院受診のタイミング～                   | 第40回丹但地区研修会併設<br>第10回市民公開講座<br>(豊岡市) 令和元年6月16日             |
| 外 科             | 三木 明  | ここまできた胃がんの個別化治療                                          | 令和元年度市民健康大学講座 (豊岡市)<br>令和元年9月18日                           |

| 診療科・所属           | 演 者 名 | 題 名                        | 講演会名・開催地・年月日                                   |
|------------------|-------|----------------------------|------------------------------------------------|
| 乳 腺 外 科          | 水田 誠  | 乳がんの診断と治療の基礎について           | 第一三共（株）社内疾患治療勉強会（豊岡市）令和2年2月12日                 |
| 整 形 外 科          | 福本 光利 | 変形性膝関節症                    | 令和元年度市民健康大学講座（豊岡市）令和元年10月16日                   |
| 脳神経外科            | 岡村 有祐 | 急性期脳梗塞治療について               | 脳卒中を考える会 in 豊岡（豊岡市）令和元年12月13日                  |
|                  | 石井 大嗣 | 血管内治療（脳動脈瘤コイル塞栓術）について      | 第11回 PRIME de Night in 大阪（大阪市）令和元年4月5日         |
|                  |       | 脳動脈瘤コイル塞栓術～あんなトラブル・こんな合併症～ | 第3回神戸脳血管内治療研究会（神戸市）令和元年6月14日                   |
|                  |       | 血管内治療（脳動脈瘤コイル塞栓術）について      | Cerenovs G3 Summit（大阪市）令和元年10月25日              |
|                  |       | 血管内治療（機械的血栓回収療法）について       | 第4回神戸脳血管内治療研究会（神戸市）令和元年11月1日                   |
| 呼 吸 器・<br>心臓血管外科 | 田 中 仁 | $\beta$ 遮断薬の使い方について        | トーアエイヨー株式会社社内勉強会（豊岡市）令和元年5月31日                 |
| 皮 膚 科            | 秋 山 創 | 皮膚疾患と亜鉛                    | ノーベルファーマ株式会社社内研修会（豊岡市）令和元年6月12日                |
|                  |       | 尋常性乾癬の病態と治療                | 協和発酵キリン株式会社社員研修会（豊岡市）令和元年6月18日                 |
|                  |       | 水疱症の病態と治療                  | 日本製薬株式会社社内教育講演（豊岡市）令和元年8月1日                    |
|                  |       | ステロイド性骨粗鬆症の治療              | 第一三共株式会社社内疾患治療勉強会（豊岡市）令和元年9月18日                |
|                  |       | 带状疱疹の病態と治療                 | 但馬地域ヘルペス研究会（豊岡市）令和元年10月10日                     |
|                  |       | 皮膚科での強皮症の治療について            | 日本新薬（株）営業所内研修会（豊岡市）令和元年11月13日                  |
|                  |       | 強皮症の病態と治療                  | アッヴィ合同会社社外講師招聘勉強会（スキルアップトレーニング）（豊岡市）令和元年12月18日 |
|                  |       | IVIG の治療効果について             | 日本製薬医学教育会（豊岡市）令和2年2月18日                        |
|                  |       | 爪白癬の病態と治療                  | 科研製薬（株）社外講師勉強会（豊岡市）令和2年3月25日                   |

| 診療科・所属                        | 演 者 名 | 題 名                                                     | 講演会名・開催地・年月日                                      |
|-------------------------------|-------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 産婦人科・但馬<br>こうのとり周産<br>期医療センター | 住友 理浩 | 婦人科癌のトピック – HPV ワクチン、遺<br>伝性乳癌卵巣癌症候群を中心に –              | 豊岡市医師会 第1回病診連携協議会<br>(豊岡市) 令和元年8月29日              |
|                               |       | 再発卵巣がん 診断と治療                                            | 持田製薬(株)社員教育(姫路市)<br>令和2年1月17日                     |
| 看 護 部                         | 吉垣留美子 | 認知症ケアについて                                               | 認知症研修会(豊岡市)平成31年4月19日                             |
|                               | 前 直 美 | 脳血管疾患の理解                                                | 平成31年度介護技術研修(養父市)<br>令和元年5月12日                    |
|                               | 中田 淳子 | スキンケアの基礎                                                | 平成31年度介護技術研修(養父市)<br>令和元年5月28日                    |
|                               | 畑中 友紀 | 糖尿病の理解                                                  | 平成31年度介護技術研修(養父市)<br>令和元年6月5日                     |
|                               |       | フットケアについての基礎知識(なぜフッ<br>トケアが重要なのか)支援員が実施できる<br>フットケアについて | 兵庫県社会福祉事業団特別養護老人ホー<br>ムたじま荘社内研修会(豊岡市)<br>令和元年9月7日 |
|                               |       | QOL を考えた介護職との血糖値の共有～当<br>院における糖尿病療養指導の取り組み～             | 第11回兵庫糖尿病療養指導セミナー<br>(神戸市) 令和元年10月12日             |
|                               | 田渕 弘晃 | 看護における血行動態モニタリングの活用                                     | 但馬メディカルフォーラム(豊岡市)<br>令和元年6月14日                    |
|                               | 米田 勝一 | 災害時の対応方法の知識を深める災害支援<br>ナースの役割を知り、登録者を増やす                | 令和元年度但馬支部委員会・研修会<br>(豊岡市) 令和元年6月29日               |
|                               | 安原 沙織 | せん妄とその看護                                                | 精神看護に関する講演会(美方郡)<br>令和元年7月2日                      |
|                               |       | 身体拘束回避を目指すケア～認知症とせん<br>妄の理解～                            | 兵庫県看護協会但馬支部研修(豊岡市)<br>令和元年11月30日                  |
|                               | 嘉屋 裕喜 | 人工呼吸器(非侵襲的陽圧換気: NPPV)装<br>着患者の看護                        | 京丹後市立久美浜病院研修会<br>(京丹後市) 令和元年7月9日                  |
|                               | 山根 堂代 | No.736 活用できるフィジカルの知識                                    | 兵庫県看護協会但馬支部研修(豊岡市)<br>令和元年7月27日                   |
|                               | 飯野 聖子 | ストーマ造設から装具の選択まで                                         | 京丹後市立久美浜病院研修会(京丹後市)<br>令和元年9月20日                  |
|                               |       | 皮膚トラブルとそのケア方法                                           | 出石医療センター研修会(豊岡市)<br>令和元年9月20日                     |
|                               |       | ガス・においについて                                              | オストメイト体験懇談会(養父市)<br>令和元年11月3日                     |
|                               | 山 崎 恵 | No.738 家族の看取り～患者と家族が望む最<br>期を迎えるために看護職ができること～           | 兵庫県看護協会但馬支部研修(豊岡市)<br>令和元年9月28日                   |

| 診療科・所属                        | 演 者 名   | 題 名                                     | 講演会名・開催地・年月日                                                                   |
|-------------------------------|---------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 看 護 部                         | 栃尾 陽介   | 引き金と注意サインの時のプラン、調子が悪い時の対処プラン            | 令和元年度WRAPクラス（豊岡市）<br>令和元年10月17日                                                |
|                               | 小野山栄作   | ECMO 管理中の看護と看護師の役割                      | 第4回北近畿循環器・集中治療カンファレンス（福知山市）令和元年10月19日                                          |
|                               | 梶井 弘美   | 小児喘息児に対する看護                             | 京丹後市立久美浜病院研修会<br>（京丹後市）令和元年10月31日                                              |
|                               | 岩破多恵子   | 在宅酸素を使用したエンドオブライフケアの実際                  | 第18回播磨呼吸ケア研究会（姫路市）<br>令和2年1月11日                                                |
|                               | 藤巻ゆかり   | 今更、血行動態モニタリング??医療チームで語る本音               | 第47回日本集中治療医学会学術集会<br>（WEBサイトでのオンデマンド配信）<br>令和2年3月6～8日（配信期間令和2年4月28日～令和3年1月31日） |
| 医 療 安 全<br>管 理 室              | 津 田 恵   | No.737 インシデントレポートの活用方法～事例分析、対策の視点～      | 兵庫県看護協会但馬支部研修（豊岡市）<br>令和元年8月24日                                                |
| 安全管理部                         | 吉盛奈津美   | 針刺し                                     | 医療法人社団絹和会但馬病院院内感染防止対策研修会（養父市）令和元年11月12日                                        |
|                               |         | 病院前救護・救急診療における感染対策<br>今できる対策とこれからとるべき対策 | 救急救命士研修会（豊岡市）<br>令和2年2月25日・26日                                                 |
| 薬 剤 部                         | 今井 清隆   | 薬剤師が取り組む薬剤耐性（AMR）対策と抗菌薬適正使用             | 兵庫県薬剤師会但馬支部総会（豊岡市）<br>令和元年5月19日                                                |
| リ ハ ビ リ<br>テ ー シ ョ<br>ン 技 術 科 | 山 田 和 希 | 選手の肩・ひじの初歩的なケア方法<br>アイシング方法の実演指導        | 豊岡市少年野球連盟 第3回メディカル講習会（豊岡市）令和元年5月25日                                            |
|                               |         | スポーツリズムトレーニングの内容<br>怪我をしない体づくりとは        | 蓼川保育園ふれあい参観日（豊岡市）<br>令和元年6月15日                                                 |
|                               |         | スポーツリズムトレーニングの内容<br>怪我をしない体づくりとは        | 静修保育園ふれあい参観日（豊岡市）<br>令和元年6月29日                                                 |
|                               |         | 理学療法士によるリズムトレーニング                       | 竹野中学校1年親子活動（豊岡市）<br>令和元年8月18日                                                  |
|                               | 小西 浩之   | WRAP について、日常生活管理プラン                     | 令和元年度WRAPクラス（豊岡市）<br>令和元年度10月3日                                                |
| 臨 床 工 学<br>技 術 科              | 尾 田 友 広 | 多職種で活用する血行動態モニタリング                      | 但馬メディカルフォーラム（豊岡市）<br>令和元年6月14日                                                 |
|                               |         | 今更、血行動態モニタリング??医療チームで語る本音               | 第47回日本集中治療医学会学術集会<br>（WEBサイトでのオンデマンド配信）<br>令和2年3月6～8日（配信期間令和2年4月28日～令和3年1月31日） |
| 栄養技術科                         | 井上なつみ   | 糖尿病食の栄養指導の実際                            | 地域で高める糖尿病診療 in TAJIMA<br>（豊岡市）令和元年11月21日                                       |

# 第 23 回 公立豊岡病院組合立病院 合同学会

令和元年 11 月 9 日（土）（豊岡市）

## 研究発表 要旨

### 【演題 1】

錠剤監査支援システム「MDM1」の導入について ～業務負担の軽減にむけて～

豊岡病院 薬剤部 薬剤課第 3 係長 田 中 孝 弘

### 【演題 2】

当院における医薬品安全対策

朝来医療センター 薬剤部 薬局長 中 嶋 正 博

### 【演題 3】

放射線防護衣の点検管理 ～標準化の試み～

豊岡病院 放射線技術科 主任診療放射線技師 安 保 紀 秀

### 【演題 4】

助産師外来開設に向けての取り組み

豊岡病院 看護部 助産師 中 村 ひとみ

### 【演題 5】

外来待ち時間を利用した慢性腎臓病生活指導の取り組み

日高医療センター 看護部 看護師 太 田 茜

### 【演題 6】

外来 - 病棟の一体運用における在宅療養支援の取り組み

出石医療センター 看護部 副看護師長 田 中 奈津子

### 【演題 7】

精神科リエゾンチーム活動の成果と課題

豊岡病院 看護部 主任看護師 安 原 沙 織

### 【演題 8】

これからも地域に貢献できる病院として、朝来医療センターの紹介

朝来医療センター 看護部 総看護師長 梶 原 明 子

### 【演題 9】

診療科紹介・婦人科癌診療におけるトピック

豊岡病院 但馬こうのとり周産期医療センター長 住 友 理 浩

# 研 修 報 告

# 2019 年度 認定看護管理者教育課程 「ファーストレベルⅣ期」研修報告

公立豊岡病院 看護師長  
濱 武

## 1. はじめに

2019 年 11 月 13 日から 12 月 12 日まで、兵庫県看護協会において実施された認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程を受講し、看護管理に必要な基本的な知識・技術・態度を習得した。ここでの学びを活かし、自部署の課題に対する改善計画を立案し実践したためここに報告する。

## 2. テーマ

「多様な自分の強みを活かした実践ができる人材の教育支援体制を作る」

当院は急性期病院として機能し、北近畿唯一の救命救急センターとして、プレホスピタルから集中治療まで一貫した高度医療を提供している。リーダーはその経験を通し救急看護に対する強い思いがあり、質の高い看護を提供するために高いスキルを求める傾向がある。HCU では人材育成はプログラムに沿って段階的に教育を行い、到達レベルにあわせた業務を行なっている。しかし、個々の成長段階を見守ることよりプログラム通りに段階的に成長させることを優先し、指導場面でのリーダーの言動がスタッフを萎縮させ、人間関係によるストレスの増加やモチベーションの低下から離職につながるなどの問題がある。リーダーへの問題提起やスタッフの思いに寄り添い成長につながる関わりや支援ができるように根本的に教育体制や支援体制を見直すことが課題である。

## 3. 現状分析

### 1) SWOT 分析

内部環境の「強み」は、

- ①救命救急センターとして救急外来、ICU・HCU の救急看護や集中治療看護だけでなくプレホスピタルの看護のキャリアを積む事ができる。
- ②チーム医療を充実させるために看護師だけでな

く、医師も含めた他職種との事例の振り返りや、一緒に勉強をする機会が定期的に開催されており知識や技術を高める事ができる。

「弱み」は

- ①スタッフにより明確なモチベーションの差があり、面談時に救命救急センターでのキャリアアップは望んでいないと言うスタッフが多い。
- ②意識の高いスタッフが指導時に威圧的にとられてしまう口調や態度、雰囲気を出してしまう事により、他のスタッフのストレスになっている。

外部環境の「機会」として、

- ①北近畿エリアに唯一の救命救急センターである。救急医の人材が充実しており救命救急センターとしての機能やドクターヘリやドクターカーの病院前診療の体制が整っている。
- ②他のコメディカル職種と人数が充実している。

「脅威」は

- ①一般病棟から救命救急センターへの異動を希望するスタッフがほとんどなく、病棟間のスタッフ異動が極端に少ない。

### 2) クロス SWOT 分析

「積極的戦略」として、

- ①医師や多職種のスタッフと協力して救命救急センターの看護師として高度な治療、処置や看護の実践。

「差別的戦略」は、

- ①看護実践を通して救急看護の醍醐味や根拠を理解し、看護実践をする事による自信とモチベーションの向上。

「段階的改善策」は

- ①多様性のある人材に対応する教育プログラムの修正と教育支援体制の整備をする。

「回避対策」として、

- ①指導者の外部研修を取り入れ、行動変容の動機

付けを指導力に活かす。

#### 4. 取り組みの実際

##### 1) 目標

- ①教育プログラムの修正
- ②チームカンファレンスの習慣化
- ③指導者の研修参加

##### 2) 行動計画

- ①病棟3役と病棟教育係を中心に教育プログラムの修正を検討する。
- ②毎日チームカンファレンスの開催ができるように習慣化させ、スタッフそれぞれが自分の看護実践について振り返りができ、自信につながるようなカンファレンスになるようにファシリテートする。
- ③専門看護師と相談し、病棟集合研修にコーチングなどの成人教育に関する内容を企画する。

#### 5. 結果

##### 1) 教育プログラムの修正

プログラムの修正を検討したが、看護の質を維持し、どのように質の担保をするかという問題が大きく、既存のプログラム内容から大きく修正することはできなかった。

##### 2) チームカンファレンスの習慣化

業務によりできない日もあったが、短時間でもカンファレンスをしようとする習慣ができた。看護計画の修正だけではなく、看護実践についても検討することが増えた。

##### 3) 指導者の研修参加

指導者の成人教育の実践について研修内容を検討し企画した。

#### 6. 今後の課題

生命に直結する医療現場において、スタッフの高い知識と技術の習得のためには厳しい指導も必要であることは誰もが認識をしている。看護師長としてリーダーとスタッフ双方の思いを確認しながら、個々の経験や特性を見極め、それぞれにあった指導を継続させ成長に導くことが必要であると考えます。

#### 7. おわりに

看護管理者として社会の状況を把握し、自分自身の視野を広げる必要性を改めて学ぶことができた。組織

がどの方向に進もうとしているか、その組織の中での自分の役割を知りスタッフへしっかり伝えていくことが重要である。スタッフをしっかり見て「承認」し、スタッフの行動を適切にフィードバックする。大きな視野から点ではなく面でスタッフをサポートできる教育支援体制を整えていきたい。

# 2019 年度 認定看護管理者教育課程 「ファーストレベルⅠ期」研修報告

公立豊岡病院 看護師長

東 森 優 子

## はじめに

兵庫県看護協会において2019年5月22日から6月14日まで「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」に参加し、看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術・態度を習得した。ここでの学びを活かし、自部署について分析し、課題に対する改善計画を立案・実践したためここに報告する。

## 自部署についての分析と改善計画

### 1. 改善計画のテーマ

「2020年までに院内助産体制を整備する」

### 2. テーマの選定理由

当院は、兵庫県北部唯一の基幹病院として周産期医療センターを併設し、年間800件以上の分娩を取り扱っている。ハイリスク妊婦やNICUへの受け入れを担っており、地域住民からの期待は大きい。しかし、医師の地域偏在は現在も解消されておらず、但馬の医師の定着はさらに困難な状況にある。当院でも医師の業務負担軽減を目的に「院内助産」の開設が決定したが、当科看護師・助産師の45%は配属年数が3年未満で、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢに認証された助産師（以後、アドバンス助産師という）も3名という現状から実践能力の強化は急務であった。院内助産の体制を整備し、全てのスタッフが自信を持って実践能力を発揮できるような教育支援体制の構築を行うことにより、助産師が主体的に分娩に携わることができ、やりがいを感じスキルアップに繋がると考えた。

## 3. 現状分析

### 1) SWOT 分析

自部署の「強み」は、①アドバンス助産師認証に向け学習意欲は高い。②助産師外来は現在安定的に稼働している。「弱み」は①院外研修での学びがOJTに活

かされず実践能力の向上につながらない。②現在アドバンス助産師は3名しかいない。外部環境の「機会」として、①地域周産期医療センターとして地域住民からの期待は大きい。②医師は、院内助産開設に積極的・協力的である。外部環境の「脅威」は、①分娩件数が減少し、占床率は年々低下している。②アドバンス助産師申請にかかる費用負担が大きい。

### 2) クロス SWOT 分析

「積極的戦略」として、①院内助産開設により助産師の能力が発揮出来ると考え、アドバンス助産師を中心に教育計画を立案し実践能力の強化を図る。②院内助産マニュアルを作成し、周産期医療チームとして医師も含めたバックアップ体制や連携方法を明確化する。「差別化戦略」として、少子化に伴う分娩件数の減少から、看護師・助産師はより妊産褥婦と新生児に寄り添うことができ、安全で安心な助産ケアが提供できる。医師から直接指導を受け、さらなる知識と技術の向上を図る。「段階的改善策」として、アドバンス助産師を活用し、院内助産開設に伴う体制を整備する。「回避対策」として、現在アドバンス助産師は3名と少ない。病院へアドバンス助産師育成のための支援を依頼する。

## 取り組みの実際

### 1. 目 標

- 1) 院内助産開設に向けた体制の構築
- 2) 臨床における助産師の実践能力の強化とアドバンス助産師の育成

### 2. 行動計画

- 1) 院内助産計画書を看護部に提出し承認を得る
- 2) 産婦人科・小児科医師、看護部、事務部門と院内助産運営について検討
  - ・タイムスケジュール
  - ・運営規定・安全管理指針の確立

- ・設備整備・費用について
- ・地域への周知について
- ・アドバンス助産師育成支援について

### 3) アドバンス助産師認証のための院外研修参加計画の立案

### 4) アドバンス助産師による「院内助産ワーキンググループ」を立ち上げる

#### ①スタッフ教育計画の立案

- ・医師による研修：
  - 「実際の事例 CTG に基づいた判読会」「産後出血の実際と看護」
- ・新生児集中ケア認定看護師による研修：
  - 「新生児仮死に関する緊急時の対応」
- ・アドバンス助産師による研修：
  - 「母乳育児推進に関連した取り組み」
- ・病棟教育係による研修：
  - 「緊急帝王切開シミュレーション」

#### ②「院内助産ガイドライン」に準じて、当院のマニュアルを作成

2. スタッフの実践能力の評価と今後の教育体制
3. 妊娠期からの切れ目ない支援を実施するために  
は外来の役割は大きい。院内助産につながる体制づくりをさらに目指す

### おわりに

外来の体制を整備し、今年度4月より院内助産対象妊婦の選定を開始したが、分娩時の新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として夫立会い分娩だけでなく、家族の付き添い制限を余儀なくされた。現在院内助産開設は延期している状態であるが、いつでも開始できるよう他部門との継続した連携と、スタッフ教育を進める。

認定看護管理者教育課程ファーストレベルに参加したことで、課題に取り組む時のPDCAサイクルを考えるようになった。命の現場において常に課題・倫理観を持ち続けながらスタッフ教育することが自身の看護観に繋がり、患者の安全やスタッフの人材育成に繋がると改めて認識することが出来た。

## 結 果

院内助産開設は医師の業務負担の軽減だけでなく、助産師がより主体的に分娩に関わることで自身のやりがいとスキルアップにつながると考えた。看護部と協働し病院全体の取り組みとして各職種へ取り組み内容を提案できたことで、院内助産開設の協力体制が早期に整うことができた。しかし、院内助産を開設するきっかけが「医師の業務負担軽減」であったことから、助産師の中には「医師が立ち会わない分娩は怖い、不安、責任が持てない」などの意見があった。院内助産の必要性や助産師としてのやりがいについて副長・主任助産師が自ら院外研修に参加し、スタッフに対して「理解と協力を促すことが自身の役割」と三役が同じ方向を目指すことが出来た。このことでスタッフの意識も代わり、アドバンス助産師を中心としたチームを立ち上げ活動を開始することができた。

新たに3名が助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢに合格した。今後、院内助産を視野にスタッフの実践能力向上に向けた教育的役割を主体的に担う。

## 今後の課題

1. 医師、看護部・事務部門との継続した連携・交渉

# 資 料

## 公立豊岡病院紀要投稿規定

- 1) 本紀要は公立豊岡病院（本院）の職員およびその関係者の研究業績等を掲載する機関紙（電子媒体）で年1回発行します。
- 2) 本紀要に掲載する内容は次の通りとします。
  - ①研究論文（総説、原著、症例報告等。但し他誌に発表されていない論文に限ります。なお、学会、研究会での発表はこの限りではありません。）
  - ②研究業績（原著論文、総説・解説、著書および学会・研究会発表。但し、本院に関係した業績に限ります。）
  - ③講演会、集談会等の学術活動の業績
  - ④視察、研修講習会等の報告、後記
  - ⑤その他編集委員が適当と認めたもの
- 3) 原稿は次の要領で記載してください。
  - ①研究論文は和文または英文とします。
    - (a) 論文執筆にあたっては論文執筆要領を参照してください。
    - (b) 著者校正は誤植の訂正にとどめ、内容の改変はしないでください。
  - ②学会、研究会の発表業績は発表抄録を掲載します。他に演題名、所属、氏名、学会研究会名、発表月日を付記してください。
  - ③研究業績については和文の場合 800 字程度、英文の場合 400 語程度の抄録を収載します。他に表題、所属、著者名、掲載誌名または著書名、発行所、巻（号）、頁（始頁 - 終頁）、発行年（西暦）を付記してください。
  - ④講演会、研修会等の業績については演題名、所属、氏名、会名、発表年月日の順に記載してください。
  - ⑤視察、研修講習会等の報告等は論文執筆要領 1）に準じてください。
- 4) 本紀要の掲載研究業績の区切りは本誌発行の前年度（前年 4 月 1 日より発行年 3 月 31 日まで）とし、原稿の締切は 10 月末日とします。なお、原著論文、著書等においては発行年月日をもって業績日とします。
- 5) 本紀要の原稿は編集委員会事務局へ提出してください。なお、不明点、疑問点がありましたら、事務局にお尋ねください。

公立豊岡病院紀要編集委員会

事務局：〒 668-8501 兵庫県豊岡市戸牧 1094

公立豊岡病院 図書室

TEL:0796-22-6111 内線 2214

# 公立豊岡病院紀要論文執筆要領

1) 和文論文、英文論文とも、ワープロまたはパソコンの編集ソフトを使用して作成したものを、A4判の用紙に片面印刷して提出する。書式などは特に問わないが、ごく標準的な形式であることが望ましい。

文字数は、和文論文で約5,000字、英文論文で2,500語を超えない程度とし、図表・写真は合計で12枚程度とする。

なお、テキストデータを保存した記憶媒体を同時に提出する。また、画像データについては編集ソフトで貼り込んだものの他に、オリジナルのデータを添付することが望ましい。ポジフィルム、プリントも受け付ける。

2) 論文の構成は表題、所属、著者名、要旨、キーワードおよび本文とする。本文は緒言、症例、方法、成績、考察、結語および文献とし、図表を付ける。

なお、これらの項目のうち適宜省略しても構わない。

3) 表題は内容を簡潔、的確に明示するものとし、略語はなるべく用いない。

4) 要旨は、和文では400字以内、英文では200語以内とし、内容を的確に表現する。

5) キーワードは英語で5個以内とし、Index Medicusなどで用いられている用語が望ましい。また、用語の先頭の文字は大文字で記載する。

(例) Key Words : Echocardiogram, Acute abdomen, Digoxin

6) 本分での人名はなるべく原語を用いる。略語を使うときは初出時に正式名を記し、( ) 内に記入した後使用する。関連領域で周知の略語でも乱用は避ける。度量衡の単位はC G Sを、年号は西暦を、数字は算用数字を使用する。

7) 図、表、写真は和文の場合は図、表、写真、英文の場合はFig, Tab, Photoと記し、複数の場合には1,2,...を添え、必ず標題を付ける。また、必要ならば説明を添える。

なお、図、写真の説明は下に、表の場合は上に入れ、図表等の挿入箇所を本文の欄外に指定する。

8) 文献の記載は本文該当部の右肩に引用順に番号(引用番号)を片括弧で記し、本文最後の文献の項に整理して記す。

(a) 著者名は2名までのときは併記、3名以上のときは筆頭者氏名、他とする。

(b) 表題は必ず記載する。

(c) 雑誌名は個々の雑誌で定めた略記に従い、省略の

ピリオドは打たない。

(d) 頁は通巻頁により、最初と最後を併記する。

(e) 文献記載の書式は、雑誌の場合、引用番号、著者名、表題、雑誌名、巻(号)、頁(始頁—終頁)、発行年(西暦)の順に、また、単行本の場合は引用番号、著者名、表題、書名(編集名)、巻数、版数、出版社名、発行年(西暦)、頁(始頁—終頁)の順に記載し、以下の例示に従う。

[雑誌]

1) 長尾光、河村慧四郎：心筋症と心臓突然死。

最新医学 46(5) : 1067—1071, 1991

2) 北村正次、他：早期胃癌の術後再発形式および死亡原因の検討。日消外会誌 24(12) : 2894—2899, 1991

3) Rawal N, Wattwil M : Respiratory Depression after Epidural Morphine-An Experimental and Clinical Study. Anesth Analg 63(1) : 8—14, 1984

4) Lin C et al : The internal septal echocardiogram : Relationship to leftatrial volume change in normal and disease heart.

Am Heart J 107(3) : 519—525, 1984

[単行本]

5) 坂本恵子：ストーマケア オストメートへの理解と援助。第1版、医学書院、1985、p108—133

6) 和田義郎：小児の蛋白代謝とその調節、新小児医学大系(小林登、他編)、第17巻A(小児代謝病学I)、第1刷、中山書店、1984、p241—253

7) loeb R : Aesthetic Surgery of the Eyelids, 1st ed, Springer-Verlag New York Inc, 1989, P49—52

8) Grossman M et al: Diagnostic Needle Aspiration of the Pancreas.

Gastroenterology (Berk JE et al eds), Vol 16, 4th ed, Saunders Company, 1985, p3962—3970

9) 本紀要の論文は

国立国会図書館 (ISSN)、医学中央雑誌、JOISのデータベースに登録されますので、和文論文では英文の、英文論文では和文の抄録を付けることを歓迎します。抄録は表題、著者名、所属、キーワード(5語以内)および抄録分(和文：400字以内、英文：200語以内)で構成し、抄録文では目的、結果および結論を明示する。

---

## 編 集 後 記

第32号公立豊岡病院紀要をお届けいたします。第32号は記念すべき号となりました。紀要の発刊については、病院と紀要編集委員会で廃刊をはじめとしたいろいろな意見が出され、紆余曲折をへて、内容を刷新し電子化の形で発刊することになりました。結果的には本来の意味での紀要となったことにほっとしております。紀要編集委員会としては更に充実させていきたいと心新たにいたしました。

2020年は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、その対応に明け暮れた日々でした。今までに経験したことのない異質で強い精神的ストレス・身体的ストレスを感じながら、新型コロナウイルス感染の対策をしつつ、通常通りに仕事をこなさなければいけません。この状況の中でも、各部門からたくさんの研究論文と原著論文を紀要に投稿していただきました。この悪条件のなかでも、学術的な気持ちを持ち続け、地道に努力されていることは、称賛に値すると感激いたしました。

新型コロナウイルス感染症のこの悪い状況はまだまだ続くと思われませんが、我々は医療者として、地域の人々によりよい医療を提供するという使命を果たさなければなりません。更に学術的にも極めて行かなくてはなりません。

医療の特殊性を鑑みるとなかなか難しい部分があることは事実ですが、「地域の患者のためのよりよい医療」を行い、更に学術的に極めていくために、正に今、我々自身の安全確保と働き方改革が必要です。これを実現するためには病院としても、早急に有効な対策を講じていただきたいものです。

新型コロナウイルス感染症が我々の前から早く消え去ることをお祈りいたします。

次年度も「公立豊岡病院紀要」をよろしくお願いいたします。

公立豊岡病院紀要編集委員会

編集委員長 松島一士

---

## 編 集 委 員 会

### 委 員 長

松 島 一 士（脳神経内科）

### 委 員

石 田 明 彦（循環器内科）

東 森 優 子（看護部）

水 田 庸 子（薬剤部）

長 岡 克 也（検査技術科）

多 次 弘 行（教育研修課）

徳 力 俊 治（形成外科）

由 良 直 子（看護部）

松 下 葵（薬剤部）

守 本 諒 太（リハビリテーション技術科）

### 事 務 局

小 林 和 将

福 田 未 季

## 公立豊岡病院紀要 第32号

令和3年3月25日発行

編 集 公立豊岡病院紀要編集委員会

発 行 公立豊岡病院

兵庫県豊岡市戸牧1094番地  
TEL (0796) 22-6111

制 作 大倉印刷株式会社

兵庫県豊岡市中央町1番9号  
TEL (0796) 22-4474